

# 関東学院 学院史資料室 ニュース・レター

No.14

2011.1

目次

学院史資料室写真集13 .....	1
『教報』総目次 .....	2
関東学院の源流を探る .....	31
学院史資料の紹介 .....	34
資料・情報提供のお願い .....	36
編集後記 .....	36



## 学院史資料室写真集13・『教報』（第十一巻第七號）

写真の『教報』は、1906（明治39）年10月25日に発行されたものである。現在、原本として手に取ることができる最も古い『教報』であると思われる。この号は東京・駒場の日本近代文学館に所蔵されている。約320×220(mm)。

この表紙を執筆した「澁橋（でんきょう）」なる人物は、佐藤清（1885.1.11－1960.8.15 詩人、英文学者）のことで、『教報』の後続誌である『基督教報』第1000号の「其頃の教報」と題した渡部元の記事の中に、「中島力三郎氏の後を受けて小生が其の主幹となつたのは、明治三十七年で當時の帝大生佐藤清氏、神學生青柳茂氏等が編輯を手傳はれた。」とあり、『教報』の編集を支えた人物のひとりであるといえる。

なお、所蔵先の日本近代文学館には「佐藤清コレクション」がある。

## はじめに

『教報』は、明治期から大正初期にかけて教報社から発行された刊行物である。誌面欄外に「THE JAPAN BAPTIST RECORD」と記されているとおり、日本におけるバプテスト派の記録をとどめた機関誌であり、横浜バプテスト神学校や東京学院等をはじめ、本学ゆかりの宣教師や人物に関する記事が随所に見受けられる。後に、『日本バプテスト史略（上・下）』（1923および1928年刊）をまとめた高橋楯雄氏が編輯人として名を連ねていることも興味深い。

学院史資料室には、『教報』の写ししかなく、その原本の所在、正体について仔細不明であり、その利用範囲はあくまでも内部の参考資料程度にとどめる他ない。その写しの他には、1992（平成4）年、学院史資料室において『教報』の原本所在について調査した資料の一部分が現在手元に残っている。それによると、『教報』の原本の多くは斉藤久吉氏が所蔵していたことが判る。斉藤氏は1903（明治36）年に大阪に生まれ、1926年に東京学院神学部を卒業し、その後、1930（昭和5）年に塩釜キリスト教会の牧師となり、生涯この地で過した（2006（平成18）年12月2日召天）。

なお、今回新たに日本近代文学館に『教報』の一部が所蔵されていることが判り、写しを入手することができた。

これらのことから、今回の総目次作成にあたっては、一部を除き、原本を基にすることが不可能であったが、写しを含め、現在確認が取れるものについて収載するように努めた。以下に詳細を記す。

- ・第11巻第7号（1906（明治39）年10月25日発行）から第11巻第12号（1907（明治40）年3月25日発行）まで  
…日本近代文学館所蔵
- ・第12巻第3号（1907（明治40）年6月20日発行）から第18巻第11号（1912（大正元）年10月5日発行）まで  
…『近代日本キリスト教新聞集成』（1993（平成5）年、日本図書センター発行）本学大学図書館所蔵
- ・第18巻第12号（1912（大正元）年10月20日発行）から通巻第279号（1913（大正2）年7月20日発行）まで  
…学院史資料室にあった写し（原本不明）

第11巻第7号以前と、第20巻第5号と思われる通巻第279号以降は現時点で確認することができず、『教報』の発行期間が不明であることは、残念でならない。

## <凡例>

- ・仮名遣い、旧漢字、異体字などなるべく原文のままとした。
- ・※印は記事抜粋や概要、その他は関東学院学院史資料室において付加したことを示す。
- ・「広告」は、本学と関わりがある事項、その他について適宜掲載した。
- ・判読不可能な文言については、■に置き換えた。

### 第11巻第7号 1906（明治39）年10月25日発行

実験の信仰	澁橋生	1
天國門	回天子	2
神之御園	陸中■澤尻 豊田玉萩	3
説教 新天新地	孤星	3
月に與ふる	操甫	4
修養曆	孤星編	4
救靈者耶蘇	Y生	5
月天心	白天	5
殉教者列傳	ステヒンク著、操甫補譯	6
神學校合併案不成立に就て	千葉勇五郎	7
功一級	正坊生	7
鐵嶺の長老	中村貞治	7
雜報	—	8

・近畿急報（京都、武田龜吉氏接手禮會議、近畿部會）／渡部生・浸禮、基督二教派有志の會合・横濱神學校※1・左内坂たより・青年同盟傳道記・佐沼講義所・市内浸禮派合同親睦會・鹿兒島通信・萩通信・鹽釜だより・浪速浸禮基督教會・但馬浸禮教會・兵庫浸禮講義所・横濱浸禮教會通信※2・シヤトル浸禮教會一

### 般状況

浸禮教會出席會員名簿（十二）平浸禮教會	—	10
---------------------	---	----

- ※1 「横濱神學校 本年よりは本科別科の二種に分ち、本科には中學程度卒業以上の者を收容する由にて、本學年も若干の新入學生と傍聽生とありし由」
- ※2 「横濱浸禮教會通信 パアシユレー御夫婦は新に來朝せられ、高橋楯雄氏は神學校に教授として御來任」

### 第11巻第8号 1906（明治39）年11月25日発行

石をして叫ばしむる勿れ	澁橋生	1
救靈者耶蘇（承前）	Y生	2
愛	操甫	2
夕ぐれ	豊田玉萩	3
説教 血を流さずば救なし	孤星	3
パウロの厭世觀（其一）	白天	4
所感	原枕石	4
殉教者列傳	操甫	5
修養曆	孤星編	6
目下如何なる神學校が我國に必要なりや（寄書）	千葉勇五郎	6

教役者と財産	高橋楯雄譯 <sup>※1</sup>	7
ワナメーカー氏と日曜學校	封泉	8
雑報	—	8
・相模厚木町・青年同盟傳道記・根室近況・シアトル便・池田浸禮派講義所・京都通信・奈良通信・横濱・バプテスト神學校傳道館・兵庫講義所・關東部會巡迴報告・第七近畿部會		
浸禮教會出席會員名簿（十四）八戸浸禮教會	—	10

※1 正しくは高橋楯雄訳ではない。

第11巻第9号 1906（明治39）年12月25日発行

懷古一千九百年	—	1
青柏樹	うしほ	1
活信	中島力三郎	1
天使の歌	操甫譯	2
唯夫れクリスマスか	神戸 吉川龜	3
鐘の音	横濱 柏陵譯	3
クリスマスに就て	水戸 赤川生	3
聖誕節常磐樹（クリスマスツリー）の起源と其意義	常川封泉	4
秋曉	陸中黒澤尻町 豊田玉菫	5
パウロの厭世觀（其貳）	白天	5
殉教者列傳	操甫	7
眼を開け	阿部驢水	8
東京學院長クレメント氏がスタンダード紙上に掲載せし論文に就て	衣袖	8
吾人は大膽なる信仰に移る能はざる乎	兵庫 渡邊袈裟之助	9
浸禮派刷新策	シヤトル市 岡崎福松	10
雑報	—	10
・バプテスト神學校講習會・東京たより・沖繩通信・芝浸禮教會・大阪浸禮教會・神戸浸禮教會・札幌通信・浪速たより・横濱通信・井出伊之助氏按手禮式		
正誤 <sup>※1</sup>	—	12
浸禮教會出席會員名簿（十三）盛岡浸禮教會	—	12

※1 「前號所載の教役者と財産と題する文は高橋君自身の譯文にはあらざる由に付正誤致候」

第11巻第10号 1907（明治40）年1月25日発行

豫言者アモス	孤星	1
力より力に進み	操甫	2
罪惡意識の價値	澁橋	2
エンゲエラスの與ふる教訓	ドラモンド述、つよ子譯	2
新年松二首	吉川龜	4
殉教者列傳	操甫譯	4
明治四拾年を迎ふ	曳尾若翁	5
孤帆遠影	きよし	6
後れ髪	秋蒿生	6
歸任の辭	イー、エツチ、ジョンス	7
雑報	—	8
・關東部會・中央會館牧師館・東京通信・神學校講習會・大阪通信・厚木だより・根室通信・大町通信・京都通信・神戸八幡保育所クリスマス・小石川インマス		

エル教會青年會・堺通信・奈良通信・浸禮派統計 <sup>※1</sup> ・華盛頓州西北部會の來状・本紙と聖書之道合併相談會	—	10
彙報	—	10
・郷司平吉・澁谷十郎・渡邊房吉・谷口龜藏・ジョンス・フ井シヤー		
社告	教報社	10
浸禮教會出席會員名簿（十四）浪速浸禮基督教會	—	10
父豊次郎は去廿日腦溢血にて永眠仕候	渡部元	10

※1 「浸禮派統計 合衆國北バプテスト外國傳道會社第九十回年會報告（千九百五年四月より同六年の三月終りまで一ヶ年の統計）日本は宣教師六十一人、邦人教役者百四十七人、教會二十九、教會員二千百十人、日曜學校九十三、同生徒四千六百八十三人、諸學校十二、授業を受けし生徒八百四十一人なり」

第11巻第11号 1907（明治40）年2月25日発行

根本意義	白天	1
臨終の盜人	操甫譯	1
其子を醫し父に予へたり	赤川生	2
殉教者列傳	操甫譯	2
エンゲエラスの與ふる教訓（承前）	ドラモンド述、つよ子譯	3
再び晚餐式に就て吾人の希望を述ぶ	兵庫 渡邊袈裟之助	4
見聞記（祈りに應へ給ふ聖靈の神）	金子豊吉	5
傳道の目的	原枕石	6
貴き試練	XY 生	6
ラッド博士の宗教哲學を讀む	千葉勇五郎	6
管見私言（一）	常川生	8
雑報	—	9
・第八總會・關東部會應援傳道・金子豊吉氏按手禮式・關東部會教役者會・渡部豊次郎氏葬儀 <sup>※1</sup> ・東京學院文藝會大會・關東部會・東京通信・青年同盟總會・青年同盟傳道演說・日本浸禮教會通信・横濱神學校講習會 <sup>※2</sup>		
出版報告 <sup>※3</sup>	—	10

※1 「渡部豊次郎氏葬儀 去月二十三日午後二時市谷左内坂町の浸禮教會堂に於て中島牧師司式の下に執行 青山墓地に埋葬す」

※2 「横濱神學校講習會 一月八日を以て開會せられたる同會は、二月四日を以て大なる祝福の下に閉會を告げたる」

※3 「孤星渡部元著 教報叢書第一卷 ときはの生命 發行所 教報社」

第11巻第12号<sup>※1</sup> 1907（明治40）年3月25日発行

われ何ぞ教派を説かんや	佐藤生	1
枕する所なし	孤星	1
臨終の盜人（承前）	みさを譯	2
試惑と幸福	金子豊吉	3
高襟とは何ぞや	峯村喜三郎	4
晚餐問題に就て	赤川潔	4
殉教者列傳	操甫	4
亡友反古帖	澁橋生	6
管見私言	常川生	6
本誌の合併に付て	澁橋	8
雑報	—	8
・第八總會執行順序・日本浸禮教會組合規則・關東部		

※1 9頁以下欠。

第11巻第12号の次号から第12巻第2号まで欠。

第12巻第3号 1907(明治40)年6月20日発行

論説 苦痛	ピー、シー、シンプソン	1
論説 五の麴麵と二つの魚	メービー博士	2
想苑 感想	柏陵逸人	3
想苑 播いた種	枕石	3
想苑 基督の救	赤川潔	3
想苑 所感	神懸山下の漁夫	3
想苑 神秘の力	齋藤正	4
想苑 彼は播き此は刈る	渡部孤星	4
聖書研究 帖撒羅尼迦書講話	三田村牧師	4
史傳 殉教者列傳 ジェローム	松島操	5
史傳 祈の母、ハンナ	—	6
雑録 英米に於けるバプテスト教會の發達	—	7
雑録 清國神學生より我神學校に贈れる書	—	7
雑録 日曜學校	近藤美津	8
雑録 有馬宣教師會議※1	—	8
彙報	—	8
・メービー、カンバルス※2・下瀬加守・高橋楯雄・立田果、渡部元・高垣勳治郎※3・札幌講義所・ジョンズ		
明治三十九年度之我教會現況	—	9
日本浸禮派傳道會社※4	—	9
教況	—	9
・沖繩首里講義所・鹿兒島浸禮教會・大坂浪速浸禮教會報(メービー博士歓迎會)・大坂浸禮教會報・堺講義所・池田講義所・京都浸禮教會・志木町・京橋紀念浸禮教會・四谷基督教會・東京淺草左衛門町・浸禮派青年同盟東京應援傳道・盛町通信・黄牛浸禮教會・氣仙沼・岩城平教會・信州大町・搜眞女學校感謝會		
東京博覽會浸禮派天幕傳道概況	立田氏報	11
廣告	—	11
「バプテスト神學校廣告」		
「バプテスト神學校長デーリング博士著 牧師 星野光 多君譯 組織神學一班 定價壹圓三十錢」		

第12巻第3号附録

基督教傳道船 福音丸※5	—	—
基督教傳道船 乗組員※5	—	—

※1 有馬宣教師會議は6月1日開催  
 ※2 「メービー博士カンバルス嬢は十二日出帆コレア號にて歸米せらる」  
 ※3 正しくは高垣勳次郎  
 ※4 「日本浸禮傳道會社は去る六月三日植山壽一郎方事務所に第一回委員會を開き役員の撰擧及び事業大体的方針遂行の方法等に就き協議せり」「委員長植山壽一郎、副委員長三田村新七」  
 ※5 写真

第12巻第4号 1907(明治40)年7月20日発行

論説 聖別(承前) エー、ジェー、ゴールドン博士	1
論説 信仰と事業	島田三郎 2
想苑 告別の辭※1	シーケーハリントン 3
想苑 活動論	陸中華城 小野生 3
想苑 天國の基礎	原枕石 4

聖書研究 帖撒羅尼迦書講話	三田村牧師	5
聖書研究 舊約聖書緒論	ハリントン博士講述、小野生筆記	5
史傳 殉教者列傳(十二)	ローリンスホワイト	6
家庭 夏の夕※2	松島操	6
雑録 小學校長の信仰告白※2	柏陵逸人	—
雑録 聖靈の働※2	—	—
雑録 兵庫のリバイバル※2	—	—
雑録 僧侶の悔改※2	—	—
雑録 自殺を企てし青年の實驗	—	9
雑録 少女の平和なる臨終	—	9
雑録 東京學院沿革畧記	—	10
彙報	—	10
・パーシュレー※3・ハリントン※4・ミセスハンブレ		
ン・角倉賀通、安村りん、西村宗三郎・菅野修藏、本間俊平、立田氏、谷口龜藏、吉川氏・渡部元、植山壽一郎※5		
教況	—	10
・奈良通信・熊本浸禮教會・長崎浸禮教會・長府浸禮教會・門司浸禮教會・佐世保浸禮教會・福岡・神學校・鹿兒島浸禮教會・姫路浸禮教會・神戸浸禮教會・大坂浸禮教會・京都浸禮教會・東京市内聯合傳道・インマヌエル教會・芝浸禮教會・氣仙沼・志津川講義所・盛岡浸禮教會・陸中遠野講義所・平町矯風會演説・日ノ本女學校・駿台女學校・北米南北バプテスト教徒の大會(第二回目)		
教況 關西巡回傳道日誌	吉川龜	13
教況 關東部會應援傳道	—	13
教況 關東部會特別應援傳道前半期計算報告	關東部會應援傳道委員	13
廣告	渡部元、立田果、小林健次	14
「東京學院廣告」		
「バプテスト神學校長デーリング博士著 牧師 星野光 多君譯 組織神學一班 定價壹圓三十錢」		

※1 ハリントン、7月下旬に帰国  
 ※2 欠(7、8頁欠)  
 ※3 「パーシュレー氏は北海道にハリントン氏は信州地方に傳道の爲め出張せられたるが何れも歸濱せらる」  
 ※4 「ハリントン氏は去十九日歸米の爲教賀へ出發せらる」  
 ※5 「渡部元植山壽一郎兩氏は何れも教授を辭し専任牧界に従事せらる、こと、なれり」

第12巻第5号 1907(明治40)年8月20日発行

論説 現代バプテスト教徒の位地	神學博士 チャールス、エス、エークド	(高橋生譯す) 1
論説 神學の基礎	小崎弘道	2
説苑 信仰論	原三千之助(原枕石)	4
説苑 我に従へ	渡部元(渡部孤星)	4
説苑 一幅對	柏陵逸人	5
説苑 基督の意を以て意とすべし	信州大町 金子豊吉	5
聖書研究 帖撒羅尼迦書講話(第三) 帖撒羅尼迦教會	三田村牧師	6
聖書研究 舊約聖書緒論(二)	—	—

バプテスト神学校教授	ハリントン博士講述、 小野生筆記	7
史傳 殉教者列傳	ローランド、テイロアー 松島操	8
家庭 聖書中に於ける音楽	メラ、ビー、ベン子ット	9
家庭 翁 柏陵作歌	柏陵逸人	10
家庭 翁 柏陵作曲 <sup>*1</sup>	柏陵逸人	10
雑録 十字架の福音を宣傳せよ	—	10
雑録 救の實驗	渡邊義海	11
雑録 空の鳥信者	原三千之助	11
雑録 僕の學校	片山富藏	11
雑録 海のパプテスマ	操甫（松島操）	12
教況	—	12
・沖繩・下關教會・筑前八幡町講義所・攝州池田講義所・但馬浸禮教會・京都浸禮教會・横濱浸禮教會・神學校傳道館・四谷浸禮教會・京橋紀念浸禮教會・關東部會應援傳道・東京博覽會基督教特別傳道會概況・芝浸禮教會・信州大町のリバイバル・茨城縣眞壁町・陸奥八戸町・北海道小樽・札幌教會・根室浸禮教會・ジョーンズ氏通信・谷口氏通信・日本浸禮基督教會東北部會・仙臺教況・奈良通信		
彙報	—	15
・ハリントン・高垣勅次郎・栗原榮三郎・秋元安平、波岡末五郎・佐藤薫・大矢宗作・日本日曜學校第一回夏期講習會		
廣告	—	16
「生徒募集廣告 バプテスト神學校」		
「東京學院廣告」		
「轉居 渡部元 東京四谷區左門町廿八」		
<b>第12巻第5号附録</b>		
日本浸禮派傳道會社報 活動	—	1
日本浸禮派傳道會社報 決議	—	1
日本浸禮派傳道會社報 復興式 <sup>*2</sup>	—	1
日本浸禮派傳道會社報 説話	三田村新七	2
日本浸禮派傳道會社報 雑報	—	2
日本浸禮派傳道會社報 寄附金領收報	—	2
-----		
※1 楽譜あり		
※2 「明治四十年七月廿二日横濱浸禮教會に於て復興式を舉行」日本浸禮派傳道會社の復興式		
<b>第12巻第6号 1907（明治40）年9月20日発行</b>		
社告	教報社	1
論説 神の國の所在	原枕石	1
論説 夫婦の意義	馬關 池田清道	2
説苑 現行基督教觀	柏陵逸人	3
説苑 此婦はアブラハムの裔なり	水戸 赤川潔	4
聖書研究 帖撒羅尼迦書 テサロニケ教會	三田村牧師	4
聖書研究 舊約聖書緒論（三）		
バプテスト神學校教授	ハリントン博士講述、 小野生筆記	5
雑録 殉教者列傳	ジョン、ウヰクリッフ 松島操譯	6
雑録 聖書に於ける音楽	ミラ、ビー、ベンネット	7

雑録 樵夫の娘（上）	關本小羊生譯	8
雑録 終に氣狂	原枕石	9
雑録 ポチよポチよ 柏陵作歌	柏陵	9
雑録 ポチよポチよ 柏陵作曲 <sup>*1</sup>	柏陵	10
雑録 日曜學校（記憶時代）	近藤教師	10
教況	—	11
・小倉・福岡・門司教會・長府・兵庫講義所・神戸浸禮教會・京都浸禮教會・インマヌエル教會・天幕傳道訪問・日本浸禮教會・左衛門町講義所・平浸禮教會・茨城縣眞壁北條地方・谷口教師茨城縣地方巡迴記・信州大町・茨城縣下幻燈傳道・茨城縣筑波郡・氣仙沼町・札幌浸禮教會・近畿部會執行順序・姫路浸禮教會		
通信		
彙報	—	13
・ハリントン・神學校・ウイリングハム・仙臺教會石川氏・伊藤巳之助・横濱浸禮教會 <sup>*2</sup> ・三田村牧師・常川興平・根室教會		
廣告	—	14
「生徒募集廣告 バプテスト神學校」		
「東京學院廣告」		
<b>第12巻第6号附録</b>		
日本浸禮派傳道會社報 委員會	—	1
日本浸禮派傳道會社報 獎勵 所感 <sup>*3</sup>	牧師 渡部元	1
日本浸禮派傳道會社報 獎勵 傳道會社の活動 <sup>*3</sup>	神學博士 エーエーベンネット	2
日本浸禮派傳道會社報 書簡	—	2
日本浸禮派傳道會社報 本社規則	—	3
日本浸禮派傳道會社報 會計	—	4
日本浸禮派傳道會社報 寄附金領收報	—	4
-----		
※1 楽譜あり		
※2 「本月廿一日午後四時横濱浸禮教會にて獨立紀念感謝會を開催せらる」		
※3 「去る七月廿二日 本會社復興式に際して」の奨励		
<b>第12巻第7号 1907（明治40）年10月20日発行</b>		
社告	教報社	1
論説 基督の王國	—	1
論説 處女生誕論	—	2
論説 説教者としての保羅	神學博士 ウヰリングハム	2
論説 福音の宣傳	渡部元	3
論説 汝今知らず後之れを知るべし	赤川潔	4
聖書研究 テサロニケ前書	三田村牧師	4
聖書研究 舊約聖書緒論（四）		
神學校教授	ハリントン博士述、小野華城生記	5
雑録 春の夜の夢 女役者（原名樂屋覗き）	松島操譯	6
雑録 日曜學校（想像）	渡邊澄譯	8
雑録 樵夫の娘（中）	關本小羊生	9
雑録 聖書に於ける音楽	ミラ、ビー、ベンネット夫人	9
雑録 秋窓雜感	原四明	10
雑録 聖靈に満たされよ	小池生	11
雑録 最期の祈禱	さすらひ生	11
外國雜誌覽見	—	11

教況	—	12
・沖繩縣那覇浸禮教會・首里講義所・八幡講義所・萩集會所改繕・下關・大阪浪速浸禮教會・姫路浸禮教會・京都浸禮教會・横濱浸禮教會 <sup>※1</sup> ・バプテスト神學校・芝浸禮教會・日本浸禮教會・關東部教役者會・信州大町講義所		
廣告	—	14
「廣告 バプテスト神學校」		
「東京學院廣告」		
「バプテスト神學校長デーリング博士著 牧師 星野光 多君譯 組織神學一班 定價壹圓三十錢」		
彙報 <sup>※2</sup>	—	—
附録日本浸禮傳道會社報 <sup>※3</sup>	—	—

※1 「横濱浸禮教會小歴史」

※2 欠

※3 欠

### 第12巻第8号 1907(明治40)年11月20日発行

社告	教報社	1
論説	献金	—
論説	儀文と靈的教訓	吉川龜 2
論説	樂觀の生涯	原枕石 3
論説	心ありや否や	柏陵逸人 5
論説	信、望、愛	渡部元 5
聖書研究	テサロニケ前書	三田村牧師 6
聖書研究	イエスの甦 <sup>※1</sup>	神學博士 デニー教授 <sup>※2</sup> —
雑録	聖書に於ける音楽 <sup>※1</sup>	ベンネット夫人 —
雑録	樵夫の娘(下篇子供ノ讀物)	關本小羊生譯 10
雑録	十人十種(悔改談)(壹)	— 10
雑録	宣教師の決議	— 11
教況	—	11

・鹿兒島浸禮教會・佐世保浸禮教會・福岡神學校・長府浸禮教會・瀬戸田福音丸講義所・小豆島福音丸講義所・但馬浸禮教會・神戸浸禮教會・浪速浸禮教會・大阪浸禮教會・第七回近畿部會・京都浸禮教會・神學校記事、十月中の科外講演<sup>※3</sup>・日本浸禮教會・東京インマヌエル教會・水戸浸禮教會・東京紀念浸禮教會・登米浸禮教會・信州大町講義所・仙臺浸禮教會・尚綱女學校・八戸浸禮教會・水戸浸禮教會・米國シアトル日本人浸禮教會の自給

廣告	—	14
「廣告 バプテスト神學校」		
「東京學院廣告」		
「轉居 渡部元 東京四谷區仲町二丁目十六番地」		
「バプテスト神學校長デーリング博士著 牧師 星野光 多君譯 組織神學一班 定價壹圓三十錢」		
附録日本浸禮傳道會社報 <sup>※4</sup>	—	—

※1 欠(7、8頁欠)

※2 正しくはデニー教授か?

※3 「神學校記事 學校繪葉書の印刷成る、コロタイプ版にて着色のものなるが一枚金二錢」

※4 欠

第12巻第9号から第12巻第12号まで欠。

### 第12巻第13号<sup>※1</sup> 1908(明治41)年4月20日発行

社告	—	1
論説	來らんとする我總會 <sup>※2</sup>	主筆 1
論説	教會の獨立と共働	神學教授 パーシュレー 1
論説	浸禮派組合加入諸教會に與ふる書	藤本柏陵 3
論説	神の言葉	渡部元 4
論説	説教學講義(承前)	
	神學博士 エー、エー、ベン子ット	4
雑録	見聞録	原枕石 7
雑録	品性の修養 <sup>※3</sup>	新渡戸博士 7
雑録	ジョンサン、エドワードの献身	— 8
雑録	青年學生の献身	— 8
雑録	平信徒の傳道運動	レヴェリング 9
雑録	韓京第一信	松亭主人 10
教況	—	10

・琉球糸満講義所・谷口氏下ノ關特別傳道續報・下關通信・長府通信・兵庫講義所・近畿部内教役者會・浪華浸禮教會・京都浸禮教會・石川浸禮教會・厚木教況・横濱通信<sup>※4</sup>・捜真女學校報告・中學院卒業<sup>※5</sup>・東京通信<sup>※6</sup>・向島天幕傳道・常陸國稻敷郡太田・信州大町浸禮教會講義所

彙報	—	13
・下瀬、今井・谷口龜藏・組合總會・名和儀三郎・三田村新七・組合教會の四十年統計・日本聖公會東北地方統計・米國ボルチモア市・寺本顯澄・鹿兒島浸禮教會・大立目文彌		
廣告	—	14

※1 正しくは第13巻第1号

※2 「第九回日本浸禮教會組合總會は來る五月廿一、廿二日の兩日福岡浸禮教會に於て開催せられんとす」(正しくは5月27、28日開催)

※3 「三月三十一日午後東京中學院卒業式に於て第一高等學校長博士新渡戸稻造氏は有益なる演説をせられ、其中に品性の修養に就て左の如く論ぜられた」(正しくは東京學院)

※4 「横濱通信 本月廿九日午後二時神學校に於て卒業式が執行せられる相だ。本年の卒業生は岩上淺五郎、守屋吉之助の二氏だ」

※5 「中學院卒業 三月三十日午後一時卒業式舉行校長クレメント氏司會、中島牧師聖書朗讀及び祈禱、ベンニングホフ夫人の獨吟等あり新渡戸博士有益なる演説をせらる、デーリング博士の祝禱にて散會す、散會後別室に於て茶菓の饗應あり」

※6 「東京通信 東京學院は中島力三郎氏、大立目氏に代りて舎監となり。新入生十五名を合せて、凡そ七十名の生徒あり」

### 第13巻第2号 1908(明治41)年5月20日発行

社告	—	1
論説	説教者としての基督	高橋楯雄 1
論説	傳道者の三面觀	神學博士 平岩愷保 2
論説	人生の危機	小森谷生 3
論説	傳道者之使命(神學校卒業演説)	守屋吉之助 4
論説	説教學講義	エー、エー、ベンネット 5
雑録	見聞録	原枕石 7
雑録	家庭小話	原靈泉 7
雑録	春の夜の夢 女役者	山脇生 8
雑録	在メキシコ黒田清策氏通信	— 9
雑録	救の経験	横濱浸禮教會員 森徳三郎 10
教況	—	10

・神戸浸禮教會・浪華浸禮教會・京都浸禮教會・堺講義所・狛村傳道開始・丹生村傳道開始・横濱浸禮教會・神學校・四谷浸禮教會・常陸國稻敷郡太田・茨城

縣太田・飯田兄の結婚・齋藤信子の永眠・京橋紀念浸  
禮教者・北條眞壁地方・信州大町教況・仙臺浸禮教  
會・北海道通信  
海外近事                      デーリング博士寄稿      13  
彙報                              —                      13  
・正誤・瀧澤菊吉・飯田清太郎・小野兵羔・宣教師年  
會※1・齋藤信子・渡部元※2・谷口龜藏・福尾昇・三  
田村主事・岡野ます・シャトル日本浸禮教會青年會・  
ハリントン※3・石川保五郎氏令妻  
廣告                              —                      14  
「改名廣告 今井範雅 改名 今井革」

※1 「宣教師年會は六月下旬例年の如く有馬に於て開催せらるゝ由」  
※2 「渡部元氏は病氣療養の爲め甲州七里地方へ、亦去月十五日男  
子を擧げられ秀高と命名せらる」  
※3 「ハリントン氏の馬太註釋は七月中には發行し得るとの豫定な  
り」

第13巻第3号 1908(明治41)年6月20日発行

社告                              —                      1  
論説 新たに生れたる教會員  
                                        クローザー神學校長 ウェストン博士      1  
論説 基督教徒之三大覺悟 岩上淺次郎(淺五郎)      2  
論説 説教學講義 エー、エー、ベンネット博士      3  
聖書研究 馬可傳註解  
                                        神學博士 ジョン、エー、ブローダス      5  
雜録 見聞録                              原枕石      5  
雜録 ナタン、ブラオン先生傳                      渡部元譯      6  
雜録 神秘の仙境                              西山      7  
雜録 福音丸の事業                              藤沼良顯      7  
教況                              —                      8  
・日本浸禮教會現状・日本浸禮教會組合第九回總會・  
沖縄浸禮教會・福岡通信・長府浸禮教會・新傳道地厚  
狹市・馬關長府地方・神戸浸禮教會・泉州堺・浪華浸  
禮教會・大阪浪速浸禮教會沿革・京都浸禮教會・姫路  
浸禮教會・大町・伊達謙氏葬式及び履歴・四谷浸禮教  
會・神學校※1・小樽・根室教會  
海外近事※2                      デーリング博士寄稿      12  
彙報                              —                      12  
・伊達謙・若松菊哉・バーバー・アキスリング・プゼ  
ル・クラゲット・有馬の宣教師會・赤川氏・福岡總會  
廣告                              —                      13  
「日本浸禮派傳道會社會計報告 四月會計決算表」

※1 「神學校 デーリング校長は今回日本支那等の傳道地を巡廻視  
察することを命ぜられ、神學校長たることを辭職されしに付き、  
本月有馬に開かれたる宣教師會は、パーシュレー氏を校長とし、  
テンネー氏を教授とすることを決議せり」  
※2 メービー博士、アキスリングの記事あり

第13巻第4号 1908(明治41)年7月20日発行

社告                              教報社      1  
論説 教役者養成と教會の責任                      原枕石      1  
論説 我派の出版事業                              藤本傳吉      2  
論説 苦痛の効果                              池田清道      4  
論説 説教學講義 エー、エー、ベンネット博士      5  
聖書研究 馬可傳註解  
                                        ジョン、エー、ブローダス博士      6

雜録 ピラトの書簡                              小森谷天民      7  
雜録 成功する牧師と失敗する牧師                      —      7  
雜録 家庭小話    靈泉      8  
雜録 天聲人語    —      8  
雜録 バップカック氏の論理                              —      9  
雜録 伊達謙先生を吊ふ                              上溝 鈴木良平      9  
雜録 日本浸禮教會組合規則(改正)                      —      9  
教況                              —      10  
・熊本通信・福岡縣八幡講義所・浪華浸禮教會・奈良  
通信・京都浸禮教會・若狹傳道・横濱壽町傳道館に於  
ける午後の日曜學校・信州大町教況・水戸浸禮教會・  
花巻講義所・陸前國氣仙沼講義所・札幌浸禮教會・共  
愛會・有馬宣教師會・兵庫浸禮教會・横濱浸禮教會・  
インマヌエル教會・福音丸通信  
海外近事                              デーリング博士寄稿      13  
彙報                              —                      13  
・渡部元・赤川潔・須藤千代・立田果・千葉勇五郎・  
佐藤喜太郎・吉川龜・ベンネット・高橋楯雄・芝田音  
江・原三千之助・今井革  
廣告                              —                      14

第13巻第5号 1908(明治41)年8月20日発行

社告                              —                      1  
論説 基督教の發達(可四の二六-二九)                      —      1  
論説 説教學講義                              エ、エ、ベン子ット博士      2  
聖書研究 馬可傳註解  
                                        ジョン、エー、ブローダス博士      3  
雜録 ピラトの書簡(前承)                              小森谷天民      4  
雜録 ナタン、ブラオン先生傳(承前)                      渡部元譯      5  
雜録 見聞録    原枕石      6  
雜録 天聲人語    —      7  
雜録 ルセッタ、エーチ、クレメント先生※1を悼む言葉  
(葬式の日に讀みたる)                              渡部元      7  
雜録 家庭小話    原靈泉      7  
雜録 基督教會とバプテスト教會                      —      8  
雜録 バプテスト教會の教育事業                      —      8  
雜録 懺悔    泉州堺 野林萬藏      8  
教況                              —                      9  
・沖縄通信・山口縣初穂・姫路浸禮教會・兵庫・攝州  
池田講義所・泉州・京都浸禮教會・水戸浸禮教會・平  
浸禮教會・輕井澤便り・信州大町教況・佐沼浸禮教會  
講義所・札幌浸禮教會  
海外消息                              デーリング博士      12  
彙報                              —                      13  
・バーバー・デーリング・エフ、ジー、ハリントン・  
グレスット・庄司萬太郎・渡部元・三田村新七・谷口  
龜藏・クレメント氏母堂・吉川龜・千葉勇五郎・淺原  
慈朗・伊藤巳之助・カンバス山田千代  
廣告                              —                      13  
「神學校廣告 バプテスト神學校」  
「神學校同窓生諸君に告ぐ バプテスト神學校」※2

※1 ルセッタ・エーチ・クレメントはアーネスト・クレメントの母  
※2 デーリング辭職。送別会は9月9日午後8時横濱浸禮教會に於  
て開催

第13巻第6号 1908(明治41)年9月20日発行

社告	—	1
論説	我國思想界の潮流	西山生 1
論説	我願ひ	弱冠者 1
論説	説教學講義	エ、エ、ベンネット博士 2
雑録	ピラトの書翰(前承)	小森谷天民 3
雑録	見聞録	原枕石 4
雑録	ナタン、ブラオン先生傳(承前)	渡部元譯 5
雑録	日英の親交	伊藤醒夢 5
雑録	家庭小話	原靈泉 6
雑録	天聲人語	— 7
雑録	祈禱會	山脇操甫 7
雑録	病間筆塵	思無邪生 7
雑録	祈の聽れたる實驗	— 7
雑録	初陣の感	篠萬生 8
教況	—	8
	・沖繩・鹿兒島浸禮教會・下關浸禮教會集會・兵庫・有馬修養會・京都浸禮教會・棚倉傳道・加茂傳道・若狹通信・横濱浸禮教會・東京芝浸禮教會・信州大町・茨城縣稻敷郡太田・茨城縣北條眞壁地方・北海道巡回記／渡部生・神學生諸君の傳道	東京芝浸禮教會 高橋元治 8
海外消息	デーリング博士、ほか	12
彙報	—	13
	・バーバー・藤沼良顯・ミセスデーリング・テンネー・荒瀬鶴喜・パーシュエ <sup>※1</sup> ・馬太傳註解	— 13
廣告	—	13
	「神學士 エフジーハリントン著 新版 馬太傳註釋」	—
	「神學校廣告 バプテスト神學校」	—
	「デーリング博士榮轉御歸國に付き不肖等の微意に御賛同を忝し紀念品贈呈の爲め金員御送付被成下博士には美麗なる七寶焼花瓶一對同令夫人に七寶焼ベルド一個(何れも名和商店特製品なり)并に高橋楯雄兄起稿の感謝狀に各兄の姓名を連署し贈呈致し候殊に盛んなる送別會にして博士御夫婦は涙をもて諸兄の御厚情を嬉ばれ御芳志を永遠に記憶感謝する旨懇ろに傳へ呉れよと申置かれ候 バプテスト神學校々友會委員」	—

※1 正しくはパーシュレー

第13巻第7号 1908(明治41)年10月20日発行

社告	—	1
論説	信仰の動搖が人格に及ぼす影響	神戸 吉川龜稿 1
論説	説教學講義	ベンネット博士 2
雑録	冷かなる水一杯	白百合生 3
雑録	信仰の人として岩上淺五郎氏	石川生 4
雑録	我が亡き友 <sup>※1</sup>	ベヌエル人 4
雑録	痴人の睡語 <sup>※2</sup>	柏陵逸人 5
雑録	ピラトの書翰(前承)	小森谷天民 5
雑録	信仰談片	— 6
雑録	恩師デーリング博士を送る(送別會の時朗讀せしもの)	蓮尾蓮乘 7
雑録	バーバー博士歡迎の辭(東京諸教會歡迎會にて)	渡部元 7

雑録	松竹梅之賦	沖繩 浦添朝長 8
教況	—	8
	・沖繩通信・佐世保・筑前八幡講義所・下關浸禮教會・福音丸・姫路浸禮教會・兵庫・大阪浸禮教會・京都浸禮教會・横濱浸禮教會・捜眞女學校・相州厚木・東京第一浸禮教會・バプテスト中央會館獻堂式 <sup>※3</sup> ・大町教況・水戸・宮城縣本吉郡氣仙沼町傳道師岩上淺五郎兄の葬儀・根室・小樽・バプテスト神學校 <sup>※4</sup>	—
海外消息	デーリング博士、ほか	12
彙報	—	12
	・吉川龜・渡部元・遠山磯男・ミード・ヒュース・ハリントン	—
新刊紹介	馬太傳註解	ハリントン學士著 — 12
廣告	—	13
	「轉居 渡部元 札幌大通り西四丁目浸禮教會」	—
第13巻第7号附録	—	—
	デーリング博士を送る <sup>※5</sup>	—
-----		
※1	岩上淺五郎氏の追悼	—
※2	日本浸禮教會の加入教會一覧表あり	—
※3	「バプテスト中央會館獻堂式」獻堂にあたりタッピング夫人が尽力した	—
※4	「バプテスト神學校」テンネーの歡迎會、ハリントンの帰校など	—
※5	デーリング夫妻の写真掲載、略歴記事あり	—
-----		
第13巻第8号 1908(明治41)年11月20日発行		
社告	教報社	1
論説	音樂と宗教(眞朋會といふ横濱教會の青年會で話した演説)	藤本柏陵 1
論説	基督の復活	原枕石 2
論説	人生の第一義	石川生 3
論説	説教學講義	エー、エー、ベンネット博士 4
雑録	ナタン、ブラオン先生傳(承前)	— 4
	ベンネット博士述(渡部元譯)	5
雑録	祈禱	浦添蝶々生 6
雑録	信仰談片	靈泉 6
雑録	傳道者と其子孫	— 6
雑録	青年傳道者に告ぐ	— 6
雑録	ビー、エフ俱樂部に於ける説話	渡部生 7
雑録	天聲人語	— 7
雑録	家庭小話	靈泉 7
雑録	噫我が更正の夜	小樽 大倉紫苑 8
教況	—	9
	・沖繩縣糸満講義所・姫路・兵庫・浪華浸禮教會・木津の初子・柳生村の草分・第八回近畿部會略報・組合教會第二十四回總會・横濱浸禮教會 <sup>※1</sup> ・日本浸禮派傳道會社・關東部會・關東部會教役者會・芝浸禮教會・信州大町・陸前佐沼講義所・札幌浸禮教會捧堂式の景況及來歴・根室・バプテスト中央會館管理法	—
廣告	—	15
	「講習會廣告 バプテスト神學校」	—
-----		
※1	「横濱浸禮教會」テンネーのオルガン独奏など	—
-----		
第13巻第9号 1908(明治41)年12月20日発行		
楽譜	BEAUTIFUL STAR	—
	詞 Mrs. H. E. J、曲 J. H. F	1

楽譜 うるはしき星	藤本柏陵譯	1
BETHLEHEM'S SHADOWS.		
REV. A. A. BENNETT, D. D.		2
論説 人間歴史の分水嶺	星野光多	2
論説 木匠たりし耶蘇	高橋生	3
論説 星と天軍が見える乎	藤本柏陵	4
論説 余が理想のクリスマス	吉川生	6
論説 ベテレヘムの影	ベンネット博士	7
雑録 予が近年のクリスマス	敗北生	7
雑録 クリスマス祝歌	内田尚長	7
雑録 世光	池田生	8
雑録 新曲 聖誕の夜	韓國 山脇操	8
雑録 大阪傳道女學校長ミード姉を迎ふ	武田龜吉	9
雑録 天聲人語	—	10
雑録 リース夫人眠れりと聞きて	下瀬指山	10
雑録 現今の風潮	山田千代	11
雑録 ナタン、ブラオン先生傳 (承前)		
ベンネット博士述、渡部元譯		11
教況 <sup>※1</sup>	—	12
・小樽浸禮教會・茨城縣眞壁北條・平教會・水戸・日本浸禮教會 <sup>※2</sup> ・信州大町・京都浸禮教會・浪花浸禮教會・大阪浸禮教會・バプテスト傳道女學校に於ける送迎會・沖縄・臺灣鹿港・日本浸禮派傳道會社報・横濱浸禮教會		
北米太平洋沿岸傳道地 (高橋牧師の在米活動)	—	16
韓國旅行中の雑感	デーリング博士	17
米國タコマ及該地方教況	—	17
彙報	—	18
・眞光堂・中央バプテスト教會 <sup>※3</sup> ・ミセス、リース・立田果・三田村新七氏嬰兒・ワインド・若松菊哉・荒瀬鶴喜・青柳茂・庄司文學士		
廣告	—	18
「講習會廣告 バプテスト神學校」		
-----		
※1	バプテスト中央會館写真あり	
※2	「日本浸禮教會 東京に於ける我派唯一の獨立教會にして多年中嶋教師の牧せらるゝ所なるが今回新石町第一浸禮教會と合併の協議成り愈々去る三日兩方の教會深く解散中央會館に新教會を組織し中央バプテスト教會と命名したり」	
※3	「本月上旬東京 日本浸禮教會と新石町浸禮教會と合併し中央會館に新教會を組織し、中央バプテスト教會と命名せり」	
-----		
<b>第14巻第10号<sup>※1</sup> 1909 (明治42) 年 1月20日発行</b>		
社告	—	1
楽譜 THE COCK (雞)		
詞 D. A. FUJIMOTO (藤本柏陵)、		
曲 J. CALVIN BUSHEY		1
論説 酉の新年を迎ふ	藤本柏陵	2
論説 年頭の希望	枕石	3
論説 わが浸禮教會の理想		
ビッチング博士、齋藤生譯		4
論説 豫言者の本領		
高橋熊太郎氏演述、MK生筆記		5
論説 説教學講義	ベンネット博士	6
雑録 ナタンブラオン先生傳 (承前)		
ベンネット博士述、渡部元譯		7
雑録 下館の一夜	渡部生	8
雑録 信仰談片	—	8

雑録 近什三首	柏陵	8
雑録 人生根本問題解決の証明	伊藤醒夢生	9
教況	—	10
・小倉浸禮教會の概況・姫路浸禮教會・兵庫・奈良鹿野園および古市村の斥候戦・瓶原の鯨おろし・横濱通信・横濱壽町傳道館・バプテスト神學校・平教會・大町教況及四十一年度集會		
彙報	—	13
・中島力三郎・東京女子寄宿舎・井出伊之助氏の令閨・武田龜吉・浅原慈朗・バーバ、デーリング		
廣告	—	13

※1 正しくは第13巻第10号 (奥付は第13巻第10号となっている) であるが、次号以降も誤記に準じて巻号数が進んでいるため、次号以降については特に必要な場合を除いて注は付きません。

**第14巻第11号 1909 (明治42) 年 2月20日発行**

社告	—	1
論説 傳道の時期	枕石	1
論説 基督の復活の歴史上の證據	小崎弘道	2
論説 社會の理想的活動又は修養的活動	文學博士 中島力造	3
論説 現今の基督教會	池田清道	5
論説 説教學	ベンネット博士	5
雑録 聖徒列傳	山脇操甫	6
雑録 ナタン、ブラオン先生傳 (承前)		
ベンネット博士述、渡部元譯		7
雑録 最高の心	トマス、エー、エジソン	8
教況	—	8
・沖縄通信・小倉浸禮教會・筑前八幡町講義所・八幡浸禮教會・姫路浸禮教會・兵庫浸禮教會情報・兵庫教況・京都浸禮教會・横濱浸禮教會・京濱教役者會・瓶原傳道發端・芝浸禮教會・中央バプテスト教會・水戸日曜學校・大町教況・札幌浸禮教會		
海外近事	—	12
彙報	—	13
・瀧澤春野夫人・高谷實太郎・京濱教役者會・眞光堂・中島信榮・我派組合總會・浅原慈郎氏夫人・搜眞女學校		
廣告	—	13

**第14巻第12号 1909 (明治42) 年 3月20日発行**

社告	—	1
論説 個人傳道	高橋楯雄	1
論説 基督の復活の歴史上の證據	小崎弘道	2
論説 死生觀	赤川潔	3
論説 説教學講義	神學博士 エ、エ、ベンネット	4
雑録 ナタン、ブラオン先生傳 (承前)	渡部元譯述	6
雑録 感想録	原枕石	6
雑録 雑感	池田生	7
雑録 病中の雑感	若松磐泉	7
雑録 隠れたる教會	京外生	8
教況	—	8
・日本浸禮派教役者會執行順序・日本浸禮派傳道會社報・下ノ關浸禮教會・但馬浸禮教會・兵庫・京都浸禮教會・和城通信・木津講義所・奈良・横濱浸禮教會・		

武州川崎教會・東京バプテスト女子學寮・京橋紀念浸禮教會・水戸浸禮教會	
彙報	— 12
・伊藤巳之助・三田村新七・東京學院卒業式・搜眞女學校卒業式・京濱連合説教會・ウエストン・ホイットマン嬢・立田果、谷口龜藏	
日本浸禮教會傳道會社 會計報告	— 13
廣告	— 14
「東京學院 生徒募集」	

第15卷第1号 1909(明治42)年4月20日発行

論説 獨逸公立學校に於ける宗教教育	
高橋生(ボン大學教授博士クリーマー)	1
論説 基督復活の歴史的證據	小崎弘道 2
論説 余は何故バプテスト教徒なるや	
水戸 ジョンス述	3
論説 説教學講義 神學博士 エ、エ、ベンネット	4
雑録 聖徒列傳	山脇操甫 5
雑録 卒業式の祝歌	藤本柏陵 作歌 6
雑録 ナタン、ブラオン先生傳	渡部元譯 7
雑録 感想録	原枕石 7
雑録 信仰談片	— 8
雑録 ウエストン老博士逝く(享年八十九歳)	
ミセス、パーシュレー投稿	8
雑録 家庭小話	靈泉 8
教況	— 9
・日本浸禮派傳道會社・日本浸禮派教役者會執行順序・第拾回日本浸禮派教會組合總會執行順序・兵庫・泉州堺・攝州池田・笠置の戦況・京都・横濱バプテスト神學校*1・横濱教會・搜眞女學校・横濱北方講義所・京濱聯合説教會略報・東京同志教役者會・水戸・茨城縣眞壁北條及太田・信州大町	
彙報	— 12
・伊藤巳之助・三田村新七・バレン・ヒル・吉川龜	
日本浸禮派教會傳道會社 會計報告	— 13
廣告	— 14

※1 「横濱バプテスト神學校」卒業生、伝道実習の記事あり

第15卷第2号 1909(明治42)年5月20日発行

社説 東京に開かれし我教役者會及び總會	高橋生 1
論説 初代教會の研究(去る六日總會に於てせられたる説教の概要)	
東京中央會館宣教師 アキスリング	2
論説 第十回組合總會に於ける感想	藤本柏陵 3
論説 教役者の任務	神學博士 井深梶之助 4
論説 我教會の問題	神學校長 パーシュレー 4
講演 基督復活の歴史的證據	小崎弘道 5
講演 説教學	ベンネット博士 6
雑録 ナタン、ブラオン先生傳	渡部元譯 7
雑録 我派の女子教育	
搜眞女學校教師 山田千代子	8
雑録 送別の辭	東京築地 ハンプレン 8
教況	— 8
・日本浸禮教會教役者會・第十回浸禮教會組合總會・福音丸浸禮基督教會・兵庫・神戸・泉州堺・京都浸禮	

教會・玉水村の草分・バプテスト神學校・バプテスト神學校傳道館*1・信州大町・陸中花巻講義所教況・札幌浸禮教會・小樽浸禮教會	
彙報	— 13
・ハンプレン・谷口龜藏・ハリントン・伊藤巳之助・三田村新七・原三千之助・有柳茂*2・宣教師會	
日本浸禮派教會傳道會社 會計報告	— 13
廣告	— 14

※1 「バプテスト神學校傳道館 當館の一大恩師たりしデーリング博士」

※2 正しくは青柳茂か？

第15卷第3号 1909(明治42)年6月20日発行

論説 近世神學思想の一端	千葉勇五郎 1
論説 基督教と平和	島田三郎 2
論説 基督と舊約聖書	
神學博士 シー、ケー、ハリントン	3
論説 信徒の準備	枕石 4
論説 余は何故バプテスト教徒なるや	
水戸 ジョンス述	5
論説 米國前副大統領の演説	(護教より轉載) 6
論説 説教學講義	ベンネット博士 8
雑録 天想録	小森谷天民 9
雑録 感想録	枕石生 9
雑録 常磐講壇	孤星 9
雑録 懺悔(口語詩)	操甫 10
雑録 四日の旅	渡部生 10
雑録 故小野とく子履歴	— 10
教況	— 10
・宣教師會・沖縄通信・福音丸浸禮基督教會・兵庫浸禮教會・神戸浸禮教會・泉州堺・京都浸禮教會・横濱浸禮教會・小野とく子夫人の永眠・ハンプレン教師の送別會	
彙報	— 13
・日本浸禮派傳道會社總會・高橋熊太郎・宮杜末司・岩崎勘藏・山本熊次郎・中村ろく子・ハンプレン	
日本浸禮派教會傳道會社 會計報告	— 13
廣告	— 14
「社告 來月より本紙發行を五日及び廿日の二回と致し候 教報社」	

第15卷第4号(第184号) 1909(明治42)年7月5日発行

警鐘亂打す*1	藤本柏陵 1
論説 我派の傳道	石川安五郎*2 2
論説 喚起完成者たるキリストに來れ	
石工 本間俊平	2
論説 道肉體となりて顯る	秋元安平 4
論説 説教學	ベンネット博士 4
家庭 牛乳屋の娘(一)	— 5
雑録 バプテストの覺醒	渡部元 6
雑録 日本バプテスト派神學校合同定款(案)	
千葉私譯	6
教況	— 7
・中央バプテスト會館・故渡邊守氏の葬儀・山城、相樂郡、大河原村の草分・奈良の教況・但馬浸禮教會・	

沖繩		
彙報	—	8
・川勝虎雄・ハリス夫人 <sup>※3</sup> ・ガーレー夫人・パートン・秋元安平・クレメント夫人・グレシット・アシュモア		

社告	教報社	8
廣告	—	8

- ※1 「南北合同神学校理事撰擧の件」  
 ※2 正しくは石川保五郎か？  
 ※3 「ハリス夫人 夫人は嘗て來朝されしことあり東京學院に多くの寄附をされし人なるが目下我邦に滞在今秋歸國せらるべし。」ハリス夫人はS. W. ダンカンの妹

第15巻第5号(第185号)1909(明治42)年7月20日発行

動機	—	1
論説 我派の傳道(承前)	石川安五郎 <sup>※1</sup>	2
論説 説教學講義	ベンネット博士	2
聖書研究 基督と舊約聖書(承前)	ハリントン博士	3
求道者の栞 基督教綱領(罪惡篇)	吉川龜	4
家庭 牛乳屋の娘(二)	—	5
雑録 (一)列車送天人	あきら生	6
雑録 感想録	枕石生	6
雑録 常盤講壇	孤星	6
教況	—	7

・兵庫・神戸浸禮教會・京都浸禮教會・京濱教役者會・傳道會社總會・淺草左衛門町講義所・水戸浸禮教會・陸前國佐沼講義所・信州大町

海外消息	—	8
------	---	---

彙報	—	8
----	---	---

・京濱教役者會・傳道會社總會・井出猪之助

廣告	—	8
----	---	---

「廣告 バプテスト神學校」  
 「引照 新約全書」

- ※1 正しくは石川保五郎か？

第15巻第6号(第186号)1909(明治42)年8月5日発行

神學生の推薦	記者	1
論説 神に愛せらるゝ者	秋元安平	1
論説 説教學講義	ベンネット博士	2
聖書研究 基督と舊約聖書	ハリントン博士	3
家庭 牛乳屋の娘(三)	岡田ふみ譯	3
雑録 感想録	枕石生	4
雑録 歸朝雜記	在米タコマ市 高橋熊太郎	4
雑録 我神學校の起原 <sup>※1</sup>	—	5
教況	—	5

・熊本浸禮教會・山口縣安下の庄福音丸講義所・福音丸・但馬國豊岡浸禮教會・兵庫・横濱浸禮教會・神學校<sup>※2</sup>・バプテスト中央會館

新刊紹介 The Preacher in His Relation to The Sermon, by A. A. Bennett, D. D. <sup>※3</sup>

	—	7
--	---	---

彙報	—	7
----	---	---

・千葉勇五郎・中島力三郎・渡部元・ベンネット・テンネー・永谷とく子・淺木■一

正誤 <sup>※4</sup>	—	7
------------------	---	---

日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
----------------	---	---

廣告	—	8
----	---	---

「廣告 バプテスト神學校」

「引照 新約全書」

※1 「ハリントン博士が朗讀せられたるもの、抄譯なり」創立25年目にあたり神學校の歴史を紹介

※2 「神學校」10月に創立廿五年の記念會

※3 「此れベンネット博士の新著にして、去る二日發行せられたるものなり、昨年より紙上に掲載しつゝある説教學は即ち本書の譯文なり」

※4 「一八四號第一頁第一段第一行は「警鐘を亂打す」他

第15巻第7号(第187号)1909(明治42)年8月20日発行

山と宗教	枕石生	1
------	-----	---

論説 神に愛せらるゝ者(承前)	秋元安平	2
-----------------	------	---

論説 個人的救靈者としての牧師	默羊抄譯	2
-----------------	------	---

論説 説教學	ベンネット博士	3
--------	---------	---

聖書研究 基督と舊約聖書	ハリントン博士	4
--------------	---------	---

家庭 牛乳屋の娘(四)	岡田ふみ譯	4
-------------	-------	---

雑録 感想録	靈泉	5
--------	----	---

雑録 流離一年 <sup>※1</sup>	渡部元	5
-----------------------	-----	---

雑録 我神學校の初代 <sup>※2</sup>	—	6
--------------------------	---	---

雑録 宣教師會の議事録より <sup>※3</sup>	—	6
-----------------------------	---	---

教況	—	7
----	---	---

・對馬芦部・神戸浸禮教會・名古屋・ボールデン氏嬰兒の葬儀・教會同盟大會・札幌浸禮教會・シアトル浸禮教會・タコマ浸禮教會

彙報	—	8
----	---	---

・藤沼良顯・岩永英作・東北部會・渡部元・山崎婦人傳道者

廣告	—	8
----	---	---

「廣告 バプテスト神學校」

「The Preacher in His Relation to The Sermon, by A. A. Bennett, D. D. Price 65 sen.」

「引照 新約全書」

※1 渡部の前年夏からの各所異動等の経緯について記載あり

※2 神學校の歴史について記載あり

※3 各宣教師についての記事あり

「クレメント氏明年春歸米、ベンニングホフ氏其留主中學院を監督せらるゝ、」など

第15巻第8号(第188号)1909(明治42)年9月5日発行

小崎氏の開教五十年史を讀む	記者	1
---------------	----	---

論説 税吏レビ	赤川潔	2
---------	-----	---

論説 説教學講義	ベンネット博士	2
----------	---------	---

聖書研究 基督と舊約聖書	ハリントン博士	3
--------------	---------	---

傳記 聖徒列傳(三)	山脇操	4
------------	-----	---

家庭 牛乳屋の娘(五)	岡田ふみ譯	5
-------------	-------	---

雑録 我がミッションの日本傳道費	渡部元	5
------------------	-----	---

雑録 破戒	操甫	6
-------	----	---

雑録 東京市内基督教教師傳道者諸兄に白す	—	6
----------------------	---	---

教況	—	6
----	---	---

・沖繩・八幡浸禮教會・兵庫・但馬豊岡・日本幼稚園同盟大會<sup>※1</sup>・茨城縣北條眞壁地方・東北部會第十二回總會

山脇操君逝く <sup>※2</sup>	—	8
----------------------	---	---

彙報	—	8
----	---	---

・山脇操・小林健次・蓮沼新六・國富寅五郎翁・三田村新七・デーリング・高山夫人		
廣告	—	8
「轉居 渡部元 横濱市根岸町柏葉三四六三」		
「引照 新約全書」		

※1 「日本幼稚園同盟大會」第3回大會を9月4日、5日に開催  
 ※2 8月28日永眠

第15卷第9号(第189号)1909(明治42)年9月20日発行

活動の好機	記者	1
信仰の道	枕石生	1
論説 個人的救霊者としての牧師(承前) 默羊抄譯		2
論説 説教學講義	ベンネット博士	3
家庭 牛乳屋の娘(六)	岡田ふみ譯	4
家庭 家庭の教訓	—	4
雑録 山脇操を哭す	佐藤清	4
雑録 操甫山脇君逝きぬ	青柳茂	5
雑録 さすらひ	孤星	5
教況	—	6
・福音丸浸禮教會・浪速浸禮教會・大阪西九條講義所・京都浸禮教會・横濱壽町傳道館・横濱浸禮教會・四谷浸禮教會・東京學院日曜學校※1・故山脇操君の葬式・兵庫・關東部會執行順序		
彙報	—	8
・岡本愛子・中嶋力三郎・搜眞女學校・ベンネット・パーシュレー		
正誤	—	8
廣告	—	8
「引照 新約全書」		

※1 「東京學院日曜學校」クレメント、坂田の記事あり

第15卷第10号(第190号)1909(明治42)年10月5日発行

米國に於けるバプテストの位置	在米 デーリング博士	1
感想 病中の所感	池田清道	2
説教學講義※1	ベンネット博士	—
基督と舊約聖書※1	ハリントン博士	—
牛乳屋の娘※1	岡田ふみ譯	—
信仰談片※1	枕石	—
名和儀三郎君小傳	藤本柏陵	5
教況	—	5
・バプテスト中央教會・宣教開始五十年紀念會・神學校※2・故兒玉すぎ子葬儀・故名和儀三郎氏葬儀・厚木浸禮教會・水戸浸禮教會・信州大町・平浸禮教會山田先生(搜眞女學校の山田千代子)・八戸浸禮教會		
彙報	—	7
・名和儀三郎・兒玉すぎ子・ベンネット・バレン・關東部會		
日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
廣告	—	8
「來る十一月午後三時校堂に於て本校創立廿五年紀念會執行致し候 バプテスト神學校」		
「引照 新約全書」		

第15卷第10号(第190号)附録※3

(1頁欠)		
(2頁欠)		
(山脇氏追悼)	—	3
(山脇氏追悼)	—	4

※1 欠(3、4頁欠)  
 ※2 「神學校」ベンネット病氣、創立25周年の記事あり  
 ※3 「本附録は佐藤清、青柳茂、澁谷十郎、坂田祐、石井綱十外諸氏の厚意に依りて發行せしものなり。」

第15卷第11号(第191号)1909(明治42)年10月20日発行

ベンネット博士の死を悼む	記者	1
教説 十字架上の基督を觀よ	秋元安平	2
講演 説教學	ベンネット博士	2
雑録 信仰談片	原枕石	3
雑録 湖畔の曙	雄峯生	3
雑録 故ベンネット博士を弔ひ其遺族を慰む	福尾昇	4
雑録 ベンネット博士の畧傳		4
(三田村氏が葬式の時朗讀せられたるもの)		4
弔辭	下瀬加守	4
弔辭	瀧澤菊吉	4
教況	—	5
・琉球糸滿講義所・筑前八幡教會・山口縣安下の庄講義所・浪速浸禮教會・浪速浸禮教會西九條講義所・信州大町・横濱壽町傳道館・故ベンネット博士葬儀※1・横濱神學校※2・聖書改譯委員會・水戸		
彙報	—	7
・ベンネット・川勝鐵彌・下瀬加守・クラゲツト嬢・吉川龜		
日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
廣告	—	8
「引照 新約全書」		

※1 「故ベンネット博士葬儀 十四日午後二時浸禮教會に於て執行」  
 ※2 「横濱神學校 十月十一日當校創立二十五年紀念會を本校講堂に開く」

第15卷第12号(第192号)1909(明治42)年11月5日発行

献金論(關東部會に於ける講演)	藤本柏陵	1
講演 説教學講義	ベンネット博士	2
家庭 牛乳屋の娘(八)	—	3
雑録 ブラオン君の逸話	小林健次	4
雑録 送山口彌右衛門兄歸國	無崖岸堂主人	4
雑録 所感	萬山鶴原正直(鶴原五郎)	4
教況	—	4
・沖繩・門司浸禮教會・兵庫浸禮教會婦人會・第九回近畿部會・近畿教役者會・故ベンネット博士哀悼式・浪速浸禮教會・故カーペンター夫人紀念會※1・横濱壽町傳道館・横濱諸教會聯合説教會・關東部會		
愛する諸兄姉に告ぐ	ミセス、ベンネット	7
彙報	—	8
・タツピング夫人、ダージ嬢・モンキユア・アシユモア未亡人・小林健次・南北合同神學校・カーペンター夫人・チャブマン博士一行		
關東部會特別應援傳道費四拾貳年度計算報告	—	8
廣告	—	8

## 「引照 新約全書」

※1 「故カーペーター夫人記念會 同夫人には九月二十六日故國に於て永眠せられたる由訃音に接したれば、當地の教友等は去二十七日搜眞女學校講堂に於て、其紀念會を催したり」

## 第15卷第13号 (第193号) 1909 (明治42) 年11月20日発行

米國通信	日本支那及びヒリッピン巡廻宣教師	デーリング博士	1
論説	十字架上の基督を觀よ	秋元安平	2
論説	説教學講義	ベンネット博士	3
家庭	牛乳屋の娘 (九)	—	3
雑録	東京芝浸禮教會歴史	小林健次	4
雑録	信仰談片	枕石	5
雑録	合衆國に於ける基督教	—	5
教況	—	—	5
彙報	・熊本浸禮教會・小倉浸禮教會・若松講義所・門司浸禮教會・和泉堺講義所・浪速浸禮教會・浪速浸禮教會西九條講義所・チャプマン博士説教會・横濱壽町傳道館・信州大町・常川與平君の消息・茨城縣古河	—	8
彙報	・飯河たみ子・植山壽一郎・志賀榮吾・メービー・後藤六雄・吉川その子	—	8
日本浸禮傳道會社	會計報告	—	8
廣告	—	—	8
	「SHINKODO ANNUAL OF THE NORTHERN BAPTIST CONVENTION, 1909. C.B.TENNY, 45 BLUFF, YOKOHAMA.」	—	8

## 第15卷第13号 (第193号) 附録

カーペーター夫人記念帖 <sup>※1</sup>	—	—	—
記念會執行順序	—	—	1
開會の辭	藤本傳吉君述	—	1
カーペーター夫人の前半生	ハリス夫人述	—	1
ハリエット、エリサベス、カーペーター先生小傳	渡部元述	—	1
カーペーター夫人履歷補遺	—	—	2
所感	山田千代子嬢述	—	2
所感	小川達君述	—	2
所感	世良田盛次郎君述	—	3
所感	片岡隆起君述	—	3
所感	鈴木しな子嬢述	—	3
カーペーター夫人のみまかり給ひしをきゝて	孤星	—	3
カーペーター夫人の御永眠の折に	山東泰子	—	3
先生の御永眠をきゝて	近藤光子	—	3
吊詞	北海道留萌 大沼敬三郎	—	4
吊詞	千葉縣 岡本徹治	—	4
吊詞	沖縄浸禮教會	—	4
教母カーペーター先生を送るの辭	—	—	4
(三十九年六月廿三日先生の送別會にて讀める)	元	—	4
吊電及び吊詞を寄せられし芳名	—	—	4
御顔示し給へ (此の歌は故人の愛吟にして是れ其の意譯なり)	孤星譯	—	4

※1 「本紙はパーシュレー夫人の厚意に依りて之を發行」

## 第15卷第14号 (第194号) 1909 (明治42) 年12月5日発行

明治四十二年を送る <sup>※1</sup>	—	記者	1
講演	説教學	ベンネット博士	2
家庭	牛乳屋の娘 (十)	—	2
雑録	私の眞心よりの懇禱	豊秋生	3
雑録	芝浸禮教會歴史 (承前)	小林健次	3
雑録	信仰談片	枕石	4
雑録	名古屋傳道地の瞥見	植山	4
雑録	日本バプテスト神學校理事會報告 <sup>※2</sup>	—	5
教況	—	—	5
	・札幌浸禮教會・茨城縣古河講義所・横濱浸禮教會・搜眞女學校・横濱壽町傳道館・京都浸禮教會・泉州堺講義所・大阪天保町講義所・兵庫浸禮教會・福音丸浸禮教會 (第一信)・ (第二信)・門司浸禮教會・長崎浸禮教會	—	8
彙報	—	—	8
	・和田正彦・岡田三右衛門・ウイルカックス嬢・シヤンク	—	8
廣告	—	—	8
	「神學校及び東京學院理事選舉の報告 組合事務所」	—	8
	「廣告 バプテスト神學校」講習會開催せず	—	8

※1 神學校創立25年記念會、南北の神學校合同の記事あり

※2 「明治四十二年十一月十二日日本バプテスト神學校理事會を神戸市北野町タムソン氏宅に開く」|校長 パーシュレー 教頭 千葉勇五郎

## 第15卷第15号 (第195号) 1909 (明治42) 年12月20日発行

眞の光は世に來れり	—	記者	1
三種の信者	—	記者	1
論説	クリスマスの教	孤星	1
論説	奇妙なる嬰兒	枕石	2
講演	説教學講義	ベンネット博士	3
家庭	牛乳屋の娘 (十一)	—	3
雑録	五の徳	藤本柏陵	4
雑録	ゴープル君の畧傳	小林健次	4
雑録	感謝	池田清道	5
雑録	ジプシー・スミス叔父を導く	—	5
教況	—	—	5
	・茨城縣眞壁講義所・東京中央バプテスト教會・聖書改譯委員會・神學校・横濱浸禮教會傳道部・東京學院理事會 <sup>※1</sup> ・横濱壽町傳道館・浪速浸禮教會・西九條講義所・下ノ關浸禮教會・熊本に於ける宣教五十年祝會・沖縄通信	—	7
彙報	—	—	7
	・長谷川勇七・松本ふさ子・宣教師委員會・合同神學校教授會・タージ嬢	—	7
日本浸禮傳道會社	會計報告	—	7
廣告	—	—	8
	「搜眞女學校」神奈川一本松へ移転開校	—	8

※1 「東京學院理事會」テンネーが理事長となる

## 第15卷第16号 (第196号) 1910 (明治43) 年1月5日発行

論説	我派發達の基礎	テンネー教授	1
論説	説教學講義	ベンネット博士	2

論説	第四福音書の基督	孤星	3
家庭	牛乳屋の娘 (十二)	—	3
雑録	校歌※1	柏陵	4
雑録	偶感	柏陵	4
雑録	新年の雪	土方教	4
雑録	植村氏教師任職三十年記念祝會に臨む	記者	4
雑録	泉	雄峯	5
雑録	松本房子小傳※2	—	6
教況	—	—	7
	・茨城縣古河講義所・クラーク博士演說會・相州巡迴傳道記／ハリントン (厚木、川入、上溝、石川)・故松本ふさ子の葬儀・捜真女學校のクリスマス・横濱壽町傳道館・信州大町四十二年度諸集會及集金・泉州堺・琉球糸満講義所・北米シアトル日本人浸禮教會		
廣告	—	—	8

※1 捜真女學校校歌  
 ※2 松本房子は捜真女學校舎監

**第15卷第17号 (第197号) 1910 (明治43) 年 1 月 20日 発行**

我等は如何なる者なるや	記者	1	
論説	國家の基礎 藤本柏陵	2	
論説	吾浸禮教會の發展 佐藤喜太郎	2	
論説	我派發達の基礎 (二) テンネー教授	3	
家庭	牛乳屋の娘 (十三)	— 4	
雑録	サンキー自叙傳	— 4	
雑録	教役者會委員決議に對する東京市内宣教師會委員の回答	— 5	
雑録	東京市内宣教師會の方針	— 5	
雑録	説明書※1	— 5	
教況	—	— 5	
	・福岡浸禮教會・姫路浸禮教會日曜學校通信・浪速浸禮教會・西九條講義所・京都浸禮教會・横濱浸禮教會傳道部・横濱壽町傳道館		
彙報	—	— 7	
	・比留間五兵衛・フィツシヤ夫人・青柳茂・福岡神學校講習會		
日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	— 7	
廣告	—	— 8	

※1 「東京市内宣教師會方針」に對する説明書

**第15卷第18号 (第198号) 1910 (明治43) 年 2 月 5日 発行**

逆境の恩寵	記者	1	
論説	我派發達の基礎 (三) テンネー教授	1	
論説	國家の基礎 (二) 藤本柏陵	2	
論説	神の聖旨 原枕石	3	
聖書研究	詩篇研究 ハリントン博士講述	4	
家庭	牛乳屋の娘 (十四)	— 5	
雑録	サンキー自叙傳 (二)	— 5	
雑録	米國通信 米國デニソン大學 高谷實太郎	6	
教況	—	— 6	
	・横濱壽町傳道館・京都浸禮教會・兵庫浸禮教會・姫路浸禮教會日曜學校・福音丸浸禮教會・西南部會講習會・沖繩		
彙報	—	— 8	

・井出ときは子・東京學院理事會・組合教會日本傳道會社		
日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	— 8
廣告	—	— 8

**第15卷第19号 (第199号) 1910 (明治43) 年 2 月 20日 発行**

米國文明に對するバプテストの貢獻	—	— 1	
論説	我派發達の基礎 (四) テンネー教授	2	
論説	神の召 原枕石	3	
論説	天國とは何ぞや ヨセフ、ストロング氏、高橋熊太郎譯	3	
聖書研究	詩篇研究 (二) ハリントン博士講述	4	
家庭	牛乳屋の娘 (十五)	— 5	
雑録	サンキー自叙傳 (三)	— 5	
雑録	説教者の音信 ビー、シー、ブランド	6	
教況	—	— 6	
	・熊本浸禮教會・下關浸禮教會・山口縣萩講義所・神戸浸禮教會・井出伊之助氏愛女の葬儀・横濱浸禮教會・横濱壽町傳道館・茨城縣古河講義所・盛岡浸禮教會		
彙報	—	— 8	
	・ワインド・學生寄宿舎※1・一般宣教師廢止・京濱教役者會・日本人聖書改譯委員 (別所梅之助、松山高吉、柏井園)・瀧澤菊吉・フヒツシヤ・スチーブン・下瀬加守		
廣告	—	— 8	

※1 後の早稲田奉仕園

**第15卷第20号 (第200号) 1910 (明治43) 年 3 月 5日 発行**

第十七世紀の英國のバプテスト教會	—	— 1	
論説	我派發達の基礎 (五) テンネー教授	2	
論説	天國とは何ぞや 在タコマ 高橋熊太郎譯	2	
聖書研究	教訓の歌 ハリントン博士講述	3	
家庭	牛乳屋の娘 (十六)	— 4	
雑録	サンキー自叙傳 (四)	— 4	
雑録	公開書 在米國 デーリング博士	5	
雑録	青年の傳道及び教役者の讀書	— 5	
教況	—	— 6	
	・福音丸安下庄講義所・安下庄博愛遊戯園・兵庫教況・名古屋・相州厚木教會教況・横濱・横濱壽町傳道館・盛岡浸禮教會		
彙報	—	— 7	
	・中島力三郎・武田龜吉・森田一郎・マコラム・パーロー嬢		
日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	— 7	
廣告	—	— 8	
	「神學博士ベンネット著『説教者』 此は一昨年來教報に連載したものを一冊の小冊子としてベンネット夫人が發行」		

**第15卷第21号 (第201号) 1910 (明治43) 年 3 月 20日 発行**

聖書の變らざる事	—	— 1
論説	大なる救 秋元安平	2
聖書研究	教訓の歌 ハリントン博士講述	2
家庭	牛乳屋の娘 (十七)	— 3
雑録	サンキー自叙傳 (五)	— 4

雑録	捜真女学校訪問記	一記者	5
雑録	七の数	ジェー、シー、ブランド	6
雑録	信仰の友	—	6
教況		—	7
	・東京の大聖傳道・第四回日本日曜学校協会大會・横濱浸禮教會・横濱壽町傳道館・名古屋講義所・攝州池田講義所・泉州堺・大阪市天保町講義所・沖縄通信		
廣告		—	8
	「ベンネット博士著『説教者』」		
<b>(号数不明)</b>			
FACULTY OF BAPTIST THEOLOGICAL SEMINARY*1			

※1 W. J. McGLOTHLIN, T. M. HAWES, E. Y. MULLINS (PRES.), G. B. EAGER, W. O. CARVER, A. T. ROBERTSON, E. C. DARGAN, J. R. SAMPEY 各氏の顔写真あり

<b>第15巻第22号 (第202号) 1910 (明治43) 年4月5日発行</b>			
	聖書の變らざる事 (二)	—	1
論説	大なる救	秋元安平	2
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	2
家庭	牛乳屋の娘 (十八)	—	3
雑録	サンキー自叙傳 (六)	—	4
雑録	韓国に於ける基督教	ゲイル博士講演	4
雑録	米國に於ける平信徒の傳道運動	—	5
雑録	ペイカ氏の傳道旅行記	—	6
雑録	信仰の友	—	7
教況		—	7
	・茨城縣古河講義所・東京だより・川崎浸禮教會・神奈川傳道所・奈良及び其附近 (木津教況、大河原教況、加茂教況、月が瀬傳道)・下關浸禮教會		
廣告		—	8
	「ベンネット博士著『説教者』」		

<b>第15巻第23号*1 (第203号) 1910 (明治43) 年4月20日発行</b>			
	無題録*2	渡部生	1
論説	近時の所感	中島力三郎	1
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	2
聖書研究	馬太傳福音書	ジェー、シー、ブランド	3
家庭	牛乳屋の娘 (十九)	—	4
雑録	サンキー自叙傳 (七)	—	4
雑録	捜真女学校訪問記續編	一記者	5
教況		—	6
	・京濱教役者會・横濱浸禮教會・横濱バプテスト神學校・横濱諸教會聯合傳道大會・水戸浸禮教會・茨城縣北條・眞壁・沖縄通信		
高橋主筆への書簡	千葉福岡神學校長より	—	7
彙報		—	7
	・クレメント・蓮沼新六・守屋吉之助・波岡末五郎・吉川龜・高島林藏・石川保五郎・タツピング		
シカゴ通信		—	7
日本浸禮派傳道會社	會計報告	—	7
廣告		—	8

※1 正しくは第16巻第1号

※2 バプテストへの批評

<b>第16巻第2号 (第204号) 1910 (明治43) 年5月5日発行</b>			
	正誤*1	—	1
	來らんとする我が總會	記者	1
論説	活動と祈禱 (神學校卒業式に於ける演説)	アキスリング	1
論説	活眞理	瀧澤菊吉	2
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	3
家庭	牛乳屋の娘 (廿)	—	4
雑録	サンキー自叙傳 (八)	—	5
雑録	東京宣教師會の決議	アキスリング	6
教況		—	6
	・仙臺浸禮教會・平浸禮教會・四谷浸禮教會・横濱の傳道大會・横濱壽町傳道館・横濱捜真女學校第十二回卒業式・横濱バプテスト神學校・名古屋共進會傳道・姫路日の本女學校・熊本浸禮教會・シヤトル日本人浸禮教會		
彙報		—	8
	・我派の總會・若松菊哉・瀧澤菊吉・梨羽俊・淺原慈朗・小畑貞家・渡邊謙助・フィッシャー・武田牧師令嬢・山田千代子嬢・米國北部バプテスト大會・天野末吉		
廣告		—	8
	「來たる六月七日 (火曜日) 午前九時より摂津國有馬に於て第四回日本浸禮派教役者會開催」		

※1 「前號に第十五巻第廿三號とあるは第十六巻第一號の誤」

<b>第16巻第3号 (第205号) 1910 (明治43) 年5月20日発行</b>			
	北米通信	在米 デーリング博士	1
論説	卒業生の覺悟 (捜真女学校卒業式に於ける演説の大要)	新渡戸稻造	2
論説	信徒の反省	原枕石	3
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	4
家庭	牛乳屋の娘 (廿一)	—	5
雑録	サンキー自叙傳 (九)	—	5
雑録	信仰の友	—	6
教況		—	6
	・茨城縣古河・中央バプテスト教會近事・第十一回日本浸禮教會組合總會執行順序・日本浸禮派教役者會執行順序		
前々號の予の所感に就て		中島力三郎	7
彙報		—	7
	・渡邊謙助・尾作昇平・モリソン		
廣告		—	8
	「ベンネット博士著『説教者』」		

<b>第16巻第4号 (第206号) 1910 (明治43) 年6月5日発行</b>			
	家庭に於ける聖書	記者	1
論説	教會の禮儀作法	ゼー、エッチ、スコット	2
論説	基督の證者 (神學校卒業生の為にせられたる説教)	石川保五郎	3
聖書研究	馬可傳福音書	ジェー、シー、ブランド	4
家庭	牛乳屋の娘 (廿二)	—	5
雑録	サンキー自叙傳 (十)	—	6

雑録	隠れたる神の忠婢	齋藤惣一	6
雑録	信仰の友	—	7
教況	—	—	7
	・盛岡浸禮教會・氣仙沼・茨城縣古河・山城相樂郡高山村の開墾・攝州池田講義所		
彙報	—	—	8
	・ワインド・フィツシヤー、ロルマン嬢・澁谷只雄・宣教師會議・デーリング、ヒル・米國傳道會社(内外)及び出版會社・青年と基督教會		
廣告	—	—	8
<b>第16巻第4号※1(第207号)1910(明治43)年6月20日発行</b>			
	總會の決議に就て	記者	1
雑録	サンキー自叙傳(十)※2	—	1
雑録	米國通信(一)	千葉勇五郎	2
雑録	米國通信(二)	千葉勇五郎	3
雑録	名古屋と有馬	渡部生	3
教況	—	—	4
	・第拾一回總會・東京市内浸禮教會日曜學校花の會・茨城縣古河講義所・原町田・名古屋・浪速浸禮教會・大阪西九條講義所・神戸浸禮教會・但馬生野町・福音丸浸禮教會・沖繩		
彙報	—	—	7
	・原晴枝・ワインド・リツピット・テンネー		
	日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
廣告	—	—	8

※1 正しくは第16巻第5号  
 ※2 正しくは(十一)

<b>第16巻第6号(第208号)1910(明治43)年7月5日発行</b>			
	訂正※1	—	1
	マクラレン博士逝く	記者	1
	有馬の雑感	内田尚長	1
論説	基督信徒の一致	秋元安平	2
論説	日曜と人格	原枕石	2
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	3
家庭	牛乳屋の娘(廿二)※2	—	4
雑録	サンキー自叙傳(十)※3	—	4
教況	—	—	5
	・東京バプテスト中央教會近事・東京學院近況※4・東京だより・大河原村の初穂・神戸浸禮教會・姫路浸禮教會・但馬豊岡・下ノ關		
彙報	—	—	7
	・小野村功・飯塚啓・佐藤澁橋・デーリング・三田村新七・山本熊次郎氏夫人・東京バプテスト教役者會・ハリントン		
	日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
廣告	—	—	8

※1 「前號に第十六巻第四號とあるは第十六巻第五號の誤」  
 ※2 正しくは(廿三)  
 ※3 正しくは(十二)  
 ※4 「東京學院近況」舎監坂田祐の記事あり

<b>第16巻第7号(第209号)1910(明治43)年7月20日発行</b>			
	基督教の家族觀(一)	記者	1

論説	青年に對する教會の使命	默羊生	1
論説	現代の要求	佐々木梅治	2
論説	教會の實力	植山壽一郎	3
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	3
家庭	牛乳屋の娘(廿三)※1	—	4
雑録	サンキー自叙傳(十一)※2	—	4
雑録	天に在す我等の父よ	下瀬居易	5
教況	—	—	5
	・仙臺浸禮教會・平浸禮教會・大舉傳道記(東京帝大學生 齋藤惣一、早稲田大學生 石丸■、全 西東一)・東京便・神奈川傳道所・横濱浸禮教會・お寺の耶蘇説教・浪速浸禮教會・神戸浸禮教會・但馬生野町・沖繩通信・日本浸禮派傳道會社		
彙報	—	—	7
	・中島寅雄・プゼル・辰野恕助・武田龜吉・南北合併神學校理事會及教授會・栗原榮三郎・湯川彦太氏嬰兒		
廣告	—	—	8
	「有馬に於ける第十一回總會において時勢の要求に應じバプテスト共同の集注傳道をなすことを満場一致を以て可決致し東京に其事務所を置き諸般の事務を司ること、致候事務所は便宜上東京神田區裏猿樂町六番地委員長アキスリング氏宅に置く事と致し候」		

※1 正しくは(廿四)  
 ※2 正しくは(十三)

<b>第16巻第8号(第210号)1910(明治43)年8月5日発行</b>			
	基督教の家族觀(二)	記者	1
論説	現代の要求(承前)	佐々木梅治	1
論説	汝は何處に在るや	原枕石	2
論説	基督信徒の一致(承前)	秋元安平	3
論説	社會改良の根治策(一)	原胤照君講演	3
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	4
家庭	牛乳屋の娘(二四)※1	—	5
雑録	サンキー自叙傳(十二)※2	—	5
教況	—	—	6
	・水戸浸禮教會・常陸國太田村下太田講義所・四谷浸禮教會・傳道通信(第二報)・神奈川縣厚木町より・川崎浸禮教會・福音丸浸禮教會・長州萩町講義所・筑前八幡浸禮教會		
彙報	—	—	8
	・デーリング・吉川龜・佐藤喜太郎・高垣勘次郎		
廣告	—	—	8
	「今般我派の兩神學校合併致し來る十月十二日東京に於て開校致す事と相成り候 校長パーシュレー」		

※1 正しくは(廿五)  
 ※2 正しくは(十四)

<b>第16巻第9号(第211号)1910(明治43)年8月20日発行</b>			
	基督教の家族觀(三)	記者	1
論説	社會改良の根治策(二)	原胤照君講演	1
聖書研究	教訓の歌	ハリントン博士講述	2
家庭	牛乳屋の娘(廿五)※1	—	3
雑録	サンキー自叙傳(十二)※2	—	4
雑録	ニューヨークよりロンドンまで	千葉勇五郎	4

雑録	デーリング博士のみやげ談	渡部生	5
教況		—	6
	・日本浸禮派傳道會社・バプテスト中央會館・神學校・デーリング博士歡迎會・札幌浸禮教會・大阪浸禮教會・福音丸安下庄講義所・日本組合教會年度末の統計		
彙報		—	7
	・武田よし子・藤本傳吉・三田村新七・北部傳道會社		
	日本浸禮派傳道會社 會計報告	—	7
廣告		—	8
	「今般我派の兩神學校合併致し來る十月十二日東京に於て開校致す事と相成り候 校長パーシュレー」		

※1 正しくは(廿六)

※2 正しくは(十五)

## 第16巻第10号(第212号)1910(明治43)年9月5日発行

基督教の家族觀(四)	記者	1	
集中傳道	—	1	
論説 社會改良根治策(三)	原胤昭君講演	1	
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	2	
雑録 米國通信(三)	千葉勇五郎	3	
雑録 東北巡回記	藤本柏陵	4	
教況	—	6	
	・東京傳道通信第三報・東京神田區新石町講義所・東京府原町田・壽町講演會・各地講義所と傳道者・神奈川傳道所・澁谷十郎夫人の永眠・松本講義所・捜眞女學校・武田よし子嬢葬儀・攝州池田講義所・神戸浸禮教會・但馬豊岡・長府浸禮教會・熊本浸禮教會・沖繩通信		
彙報	—	8	
	・千葉勇五郎・曾根三治・澁谷十郎氏夫人・東山磯男氏夫人・福音丸新報 <sup>※1</sup> ・渡部元		
廣告	—	8	
	「今般我派の兩神學校合併致し來る十月十二日東京に於て開校致す事と相成り候 校長パーシュレー」		

※1 「福音丸新報 伊藤巳之助氏の主幹にして毎月一回發行せらるる」

## 第16巻第11号(第213号)1910(明治43)年9月20日発行

密室の祈禱	—	1	
論説 我派の二大特徴と教會政治の利害(上)	吉川龜	2	
論説 教會觀	原枕石	3	
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	4	
家庭 牛乳屋の娘(二六) <sup>※1</sup>	—	5	
傳記 サンキー自叙傳(十四) <sup>※2</sup>	—	5	
教況	—	6	
	・鹽釜講義所・茨城縣古河講義所・四谷浸禮教會・京濱教役者會・壽町傳道館・信州大町講義所・大阪浸禮教會・神戸浸禮教會・兵庫浸禮教會・但馬國生野講義所・福本講義所・東北特信／渡部生(水戸、平、仙臺、浸禮派東北部會第十三回總會執行順序、宮城水難救濟會)		
廣告	—	8	

※1 正しくは(廿七)

※2 正しくは(十六)

## 第16巻第12号(第214号)1910(明治43)年10月5日発行

英米に於ける基督教	デーリング博士	1	
論説 我派の二大特徴と教會政治の利害(下)	吉川龜	2	
論説 日曜學校教師に與ふ	小崎弘道君講演	2	
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	3	
家庭 牛乳屋の娘(二七) <sup>※1</sup>	—	4	
雑録 サンキー自叙傳(十五) <sup>※2</sup>	—	5	
雑録 心のたどり	讓夫	5	
雑録 東北みやげ	渡部生	6	
雑録 詩歌	吉川ひさし	6	
雑録 詩歌	吉川龜	6	
教況	—	6	
	・根室浸禮教會・茨城縣古河講義所・澁谷十郎夫人葬儀・東京市内バプテスト日曜學校教師會・日本浸禮派傳道會社總會記事・横濱浸禮教會・壽町傳道館・神奈川縣地方教役者會・故テンネー夫人葬儀 <sup>※3</sup> ・信州大町・神戸浸禮教會・教界近事		
彙報	—	8	
	・山本熊次郎・下瀬加守・テンネー夫人 <sup>※4</sup> ・集中傳道・關東部會		
廣告	—	8	

※1 正しくは(廿八)

※2 正しくは(十七)

※3 「故テンネー夫人葬儀 葬式は廿九日午後二時横濱山手三十四番に於て執行された」

※4 「テンネー夫人 去月廿七日夜半永眠」

## 第16巻第13号(第215号)1910(明治43)年10月20日発行

時勢の先覺者	ホワイト博士	1	
論説 日曜學校教師に與ふ(承前)	小崎弘道君講演	1	
論説 社會改良の根治策(完)	原胤昭君講演 <sup>※1</sup>	2	
家庭 牛乳屋の娘(二八) <sup>※2</sup>	—	2	
雑録 サンキー自叙傳(一六) <sup>※3</sup>	—	3	
雑録 シャフツベリー卿の傳を讀む	佐々木梅治	4	
雑録 沈思録	原枕石	4	
雑録 小國	ステイーヴンソン	5	
教況	—	6	
	・東北部會第十三回總會・日本浸禮派傳道會社・武相信徒親睦會・神奈川傳道所・ベン子ット先生紀念會・名古屋・南城北和の教況・大阪浸禮教會・神戸浸禮教會・下關浸禮教會・沖繩		
彙報 <sup>※4</sup>	—	8	
	・河村しん子・岩本彰義・渡部元・日本バプテスト神學校 <sup>※5</sup> ・東京市内基督教徒大親睦會		
廣告	—	8	
	テンネーの記事あり		

※1 正しくは原胤昭

※2 正しくは(廿九)

※3 正しくは(十八)

※4 正しくは彙報

※5 「日本バプテスト神學校 去る十二日開校學生は凡て廿四名新

入學生は四名なり豫科は東京學院に設置せらるゝ、由詳細の報告は次回に譲る。」

第16巻第14号 (第216号) 1910 (明治43) 年11月5日発行

日本バプテスト傳道會社	—	1
論説 基督信徒の眞生涯	秋元安平	2
論説 日曜學校職員の修養に對て	青柳茂	3
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	3
家庭 牛乳屋の娘 (二九) ※1	—	4
サンキー自叙傳 (一七) ※2	—	5
南船北馬 (一)	吉川龜	5
心のたどり	讓夫	6
沈思録	原枕石	7
教況	—	7
・日本バプテスト神學校※3・神奈川傳道所・川崎教會・横濱壽町傳道館・相州小田原・京都浸禮教會・泉州堺講義所・兵庫浸禮教會・關西部會・但馬豊岡浸禮教會・福音丸浸禮教會・沖繩通信		
彙報	—	8
・菅野半次・若松菊哉・デーリング・河村駒太		
廣告	—	8

※1 正しくは (三十)

※2 正しくは (十九)

※3 「去月十二日芽出度開校せらる」「去月二十九日午後二時講堂に於て開校式舉行す」

第16巻第15号 (第217号) 1910 (明治43) 年11月20日発行

論説 亡き友	原枕石	1
論説 基督信徒の眞生涯	秋元安平	1
家庭 牛乳屋の娘 (三十) ※1	—	2
雑録 サンキー自叙傳 (一八) ※2	—	2
雑録 シャツベリー卿の傳を讀む (承前)	佐々木梅治	3
雑録 秋懷録	小星	3
雑録 心のこよみ	故 上床くに子	4
雑録 信仰經驗談	高橋藤吉	5
教況	—	6
・第十回關東部會・關東部教役者會・關東部浸禮教會 (東京中央會館、淺草左衛門町講義所、小石川インマヌエル浸禮教會、京橋紀念浸禮教會、芝浸禮教會、四谷浸禮教會、日本バプテスト神學校、横濱浸禮教會、搜眞女學校、相州厚木浸禮教會、相州上溝及原町田、古河講義所、椽木浸禮教會、茨城縣土浦講義所、茨城縣石岡講義所)・東京市内バプテスト日曜學校教師會・故常川與平君追悼會・壽町傳道館・根室浸禮教會・沖繩・中央會館連夜説教會・四谷浸禮教會・大阪天保町講義所		
彙報	—	8
・ウオーン・駒田氏・淺原慈朗・アキスリング・中央會館・吉川龜・ハリス夫人※3		
廣告	—	8

※1 正しくは (三十一)

※2 正しくは (二十)

※3 「ハリス夫人 東京學院の恩人たりし同夫人は十月十三日永眠せられし由。」

第16巻第16号 (第218号) 1910 (明治43) 年12月5日発行

本社移轉※1	—	1
基督の神觀	—	1
講演 米國宗教界管見 (一)	高垣勳次郎	2
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	3
家庭 牛乳屋の娘 (三十二)	—	3
雑録 サンキー自叙傳 (一九) ※2	—	4
雑録 見神の一方法	西山生	5
雑録 信仰の動機	—	5
雑録 逝ける二人の姉妹※3	—	5
雑録 沈思録	原枕石	6
雑録 浙瀝集	小星	6
教況	—	7
・筑前八幡浸禮教會・姫路・聖書會社・京都浸禮教會・神學校牧師學生歡迎會・日本バプテスト神學校職員及學生歡迎會・東京バプテスト中央教會・四谷媾姆養成學校・八戸教況		
彙報	—	8
・エフ、ジー、ハリントン・ブランド夫人・歸朝せし宣教師 (ヒュース嬢、ヒル、ヒル夫人、タクスベリー嬢、ウオーン、ウオーン夫人、ステットマン、ステットマン夫人、ホイットマン嬢、タツピング夫人)・新來の宣教師 (ホルトム氏同夫人 (東京學院) ロッス氏同夫人 (仙臺) フレンチ嬢 (姫路女學校) ジスリクツチ嬢 (四谷媾姆養成學校))・東山磯男・關東部會教役者講習會・パーシュレー		
廣告	—	8
「轉居 渡部元」		

第16巻第16号 (第218号) 附録

故澁谷常子記念帖 葬儀執行順序	—	1
畧歴	岡本光太郎	1
説教	青柳茂	1
弔詞	辰野よし子	2
弔電	横濱 植山壽一郎、鈴木半次郎	2
弔電	仙臺 石川保五郎	2
弔電	門司 澁澤雄四郎	2
書翰	横濱 パーシュレー	2
書翰	仙臺 石川保五郎	2
書簡	奈良 栗原政藏	2
書簡	神戸 吉川龜	2
書簡	奈良 栗原政藏	2
書簡	神戸 三田村新七	2
書簡	盛岡 比留間五兵衛	2
書簡	輕井澤 アッキスリング	3
書簡	東繁造	3
書簡	小樽 佐野徹三	3
書簡	長府 波岡末五郎	3
書簡	輕井澤 ビー、エー、デーヴ井	3
書簡	小樽 和田正彦	3
書簡	稚内 廣澤惣吉	3
説教	小野兵衛	3

※1 「横濱市青木町 (幸ヶ谷) 三三九 教報社 庶務主任 渡部元」

※2 正しくは (二十一)

※3 「故ハリス夫人」、「故テンネー夫人」

## 第16巻第17号(第219号)1910(明治43)年12月20日発行

クリスマスの教訓	—	1
論説 夜半の福音	原枕石	2
論説 クリスマスの印象	齋藤惣一	2
論説 基督よ天降り給へ	小星	3
雑録 耶穌の降誕	青柳茂	3
雑録 クリスマスの歌	天民	4
雑録 ピナタ遊	柏陵	4
雑録 クリスマスの注意	ブース大將	4
雑録 クリスマス所感	主の婢	4
雑録 救利須満壽の祝歌	天國の小供	5
雑録 デビス博士ウ井リアムス監督奥野翁	—	5
雑録 米國に於ける注意すべき事件	—	5
教況	—	6
・八戸・盛岡浸禮教會・東北通信(東北教役者の移動、仙臺に於ける我派の宣教師、仙臺浸禮基督教會、青年會、磐城平浸禮教會)・信州大町・茨城縣古河講義所・芝浸禮教會・駿臺英和女學校・京濱教役者會・四谷浸禮教會・京橋紀念教會・横濱浸禮教會・名古屋・攝州池田講義所・神戸兵庫集中傳道の畧報・集中傳道報告・神戸浸禮教會・兵庫浸禮教會・但馬生野町		
彙報	—	10
・二千圓寄送・三田村新七・條理學士・青木壽太郎・佐藤喜太郎・ウ井リングハム・渡邊運之進・東京學院 <sup>※1</sup> ・友井春吉・和田正彦・佐藤卯衛門		
廣告	—	10

※1 「東京學院 同校理事會及び宣教師常置委員會に於ては同校擴張の爲他に移轉する事を決議せし由」

## 第16巻第18号(第220号)1911(明治44)年1月5日発行

恩恵の年	—	1
論説 新年の希望と覺悟	吉川龜	2
論説 新年の所感	S、S生	2
雑録 南船北馬(二)	吉川龜	4
講演 米國宗教界管見(二)	高垣勲次郎	5
教況	—	6
・古河講義・水戸・攝州池田町講義所・大阪傳道女學校現況・小倉通信・若松講義所・熊本浸禮教會		
彙報	—	8
・和田福吉・吉川龜氏母堂		
廣告	—	8

## 第16巻第19号(第221号)1911(明治44)年1月20日発行

清國通信	デーリング博士	1
説教 眞正の善行	秋本安平 <sup>※1</sup>	1
聖書研究 教訓の歌	ハリントン博士講述	2
家庭 牛乳屋の娘(三十二)(完結) <sup>※2</sup>	—	3
雑録 サンキー自叙傳(十五) <sup>※3</sup>	—	4
雑録 吐血録	橋本簸川	5
雑録 都の友へ	野の人	5
教況	—	5
・取消・京橋紀念浸禮教會・東京内外教役者會・バプテスト神學校・茨城縣古河クリスマス・信州大町(第一信)・大町講義所(第二信)・南城北和通信・但馬豊岡・下關浸禮教會・福岡浸禮教會		

彙報	—	8
・テンネー <sup>※4</sup> ・高井直貞・ハリントン <sup>※5</sup>		
廣告	—	8

※1 正しくは秋元か？

※2 正しくは(三十三)

※3 正しくは(二十二)

※4 「テンネー氏、病氣の爲二月一日横濱出帆歸米せらるゝ由。」

※5 「ハリントン博士 聖書改譯事業の爲止むを得ず當分神學校の授業を辭せらるることとなれり。」

## 第16巻第20号(第222号)1911(明治44)年2月5日発行

澤山保羅傳を讀む	—	1
説教 光明と暗黒	渡部元	2
講演 説教者の責任(上)	星野光多	3
日曜學校問題	田村直臣	4
傳道 求道の友へ(一)	讓夫	5
雑録 基督信者の守るべき六則	荒井生	6
雑録 米國宗教事情	—	6
教況	—	7
・札幌浸禮教會・關東部教役者講習會・捜眞女學校の近況・原町田及上溝・浪速教會・沖縄通信		
彙報	—	8
・モンキュアー・東京集中傳道		
廣告	—	8

## 第16巻第21号(第223号)1911(明治44)年2月20日発行

信條と新約	マクアーサー牧師	1
説教 基督信者の善行(承前)	秋元安平	1
講演 説教者の責任(下)	星野光多	2
日曜學校の歴史(二)	田村直臣	3
雑録 サンキー自叙傳(完結)	—	4
雑録 教會の實力	青柳生	5
雑録 處世	弘葉子	5
雑録 高橋軍平兄の臨終	村上生	5
教況	—	5
・根室國別海・青森縣八戸・水戸浸禮教會・信州大町・集中傳道彙報・東京市内バプテスト教會聯合祈禱會・中央バプテスト教會・第十二回總會・日曜學校職員會・神奈川縣川崎・名古屋		
海外近事	—	8
彙報	—	8
・今井革・クレメント・ブリッグス・小池仁郎・東京バプテスト大舉傳道・總會・谷口龜藏・ベンニングホフ <sup>※1</sup> ・高橋熊太郎		
廣告	—	8
「生徒募集 東京學院」		

## 第16巻第21号(第223号)附録

倫理的説教 勞役の快味	渡部元	1
-------------	-----	---

※1 「ベンニングホフ氏邸宅 市内牛込區辨天町に建築中なり」

## 第16巻第22号(第224号)1911(明治44)年3月5日発行

眞の自由	渡部元	1
論説 我等は神の子なり	小野兵衛	2
論説 母の力	原枕石	3
講演 日曜學校の歴史(三)	田村直臣	3

聖書研究 教訓の歌 (完結) ハリントン博士講述	4
雑録 求道の友へ (二) 讓夫	6
雑録 友梅軒 小星	6
雑録 他山の石 奈是來人	7
教況	7
・平浸禮教會・東京集中傳道・四谷浸禮教會・大阪天保町及堺・浪速浸禮教會・バプテスト女子神學校近況	
海外近事	8
廣告	8
「生徒募集 東京學院」	

**第16巻第23号 (第225号) 1911 (明治44) 年 3 月 20日 発行**

傳道方針の變更	—	1
教會と牧師	—	1
ジョルヂ、マセソン	—	1
協力一致	—	1
論説 サルデス教會 原枕石	2	
論説 逆境と順境 淺原生	2	
説教 基督の基督觀 秋元安平	3	
講演 日曜學校の目的及び管理法 (上) 田村直臣	4	
雑録 ジプシー・スミス自傳 (一) 牧笛抄譯	5	
雑録 他山の石 (第二) 奈是來人	6	
教況	—	6
・芝浸禮教會・築地紀念浸禮教會・大町・神奈川縣川崎・横濱浸禮教會・京都浸禮教會・兵庫・八戸教況、各教会等の報告		
海外雜報	—	8
廣告	—	8
「生徒募集 東京學院」		

**第16巻第23号 (第225号) 附録**

信ぜざる勿れ <sup>※1</sup>	渡部元	—
----------------------	-----	---

※1 欠

**第16巻第24号 (第226号) 1911 (明治44) 年 4 月 5日 発行**

種子と山 ダブルユー、シー、ピッチング	1	
健康と聖書 ウオッチマン社説	1	
講壇 活ける神の教會 千葉勇五郎	1	
論説 基督の基督觀 (承前) 秋元安平	2	
論説 基督の救と彌陀の救 原枕石	3	
論説 國風の禁酒 渡部生	4	
雑録 ジプシー・スミス自傳 (二) 牧笛抄譯	5	
雑録 他山の石 (第三) 奈是來人	6	
雑録 芝浸禮教會の歴史 (芝浸禮教會執事)	6	
教況	—	6
・茨城縣古河・東京學院卒業式 <sup>※1</sup> ・東京通信 (芝浸禮教會、中央教會、二つの新講義所、左衛門町講義所、千葉氏送別會)・東京市内外教役者會・總會・横濱浸禮教會・信州大町・女子神學校特別講習會		
海外雜報	—	8
彙報	—	8
・姫路日ノ本女學校卒業式・捜眞女學校卒業式・千葉勇五郎・佐藤喜太郎・佐々木梅治・ブリッグス・池田清道・渡邊忠吾・四谷彰榮幼稚園・伊達愛・青木久		
廣告	—	8

※1 「東京學院卒業式 去月二十九日午後二時同學院に於て第十一回卒業式舉行せらる」

**第16巻第25号 (第227号) 1911 (明治44) 年 4 月 20日 発行**

ジェームス王英譯聖書三百年紀念日	—	1
講壇 前進の號令 神學博士 カイラー	2	
講壇 日曜學校の目的及び管理法 (中) 田村直臣	2	
雑録 ジプシー・スミス自傳 (三) 牧笛抄譯	4	
雑録 清國西部に於けるバプテストの現状		
デーリング博士寄稿	4	
雑録 新に救に入られた友に 黃梅客人	5	
雑録 他山の石 (第四) 奈是來人	6	
雑録 眞教 栗原政藏	6	
雑録 春愁 青柳牧笛	7	
雑録 小冊子の效果	—	7
雑録 米國に於ける米作の始	—	7
教況	—	7
・仙臺尚綱女學校・捜眞女學校・神奈川傳道所・横濱集中傳道・京都浸禮教會・バプテスト女子神學校卒業式・神戸浸禮教會・東京牛込山伏町講義所・信州大町・シアトル浸禮教會		
海外雜報 <sup>※1</sup>	—	8
彙報	—	8
・山本熊次郎・ブランド・ベンニングホフ		
廣告	—	8

※1 メービーの記事あり

**第17巻第1号 (第228号) 1911 (明治44) 年 5 月 5日 発行**

初代の非基督教文學に於ける基督	—	1
論説 神の要求 靈泉	2	
講演 日曜學校教育の原理 (上) 田村直臣	3	
雑録 他山の石 (第五) 奈是來人	4	
雑録 天國を偲ぶ	—	4
雑録 教友に送る 古坡生	4	
雑録 祈禱の力 水戸市洋服裁縫師 相澤福松	5	
教況	—	6
・盛岡浸禮教會・仙臺通信 (集中傳道、尚綱女學校)・陸前、塩釜講義所の發展・水戸浸禮教會・芝浸禮教會・中央會館・東京内外教役者會・神學校・神奈川・原町田傳道所・京都浸禮教會・大阪通信 (浪速教會、西九條講義所、天保町講義所、府下池田講義所)・高津教會・泉州堺・佐世保浸禮教會・西南部會・基督教々派合同同期同盟會發會式		
海外雜報	—	8
彙報	—	8
・清野供之進・今井革・曾根三治・和田福吉・菅野半次・池田清道・藤沼良顯・岩永英作・アンソニー・瀧澤菊吉・京濱教役者會・横濱集中傳道・青柳茂		
廣告	—	8

**第17巻第2号 (第229号) 1911 (明治44) 年 5 月 20日 発行**

米國大統領の書簡	—	1
希臘語新約文典	—	1
講壇 日本の基督教の勝利は何處に在るか		

	アックスリング	1
講演	日曜學校教育の原理 (下の一) 田村直臣	2
雑録	ジプシー・スミス自傳 (四) 牧笛抄譯	3
雑録	吾が聖書より (一) ムーデー	3
雑録	歐州通信 (一) 千葉勇五郎	4
雑録	モスコよりオデッサ (二) 千葉勇五郎	5
雑録	九州紀行 アックスリング	5
教況	—	6

・小樽浸禮教會報・登米浸禮教會・茨城縣眞壁町・小石川西原町講義所・京橋紀念浸禮教會・横濱浸禮教會  
 バプテスト宣教師一覧 — 8

彙報 — 8

・高瀬英一・岡精一・東京バプテスト日曜學校聯合花の會・神學校卒業式<sup>※1</sup>・武田龜吉

廣告 — 8

**第17巻第2号 (第229号) 附録**

日本バプテスト一覧<sup>※2</sup> — —

※1 「神學校卒業式 六月十三日午後二時舉行」

※2 欠

**第17巻第3号 (第230号) 1911 (明治44) 年6月5日発行**

戦の世	渡部生	1
論説	仙境の門 枕石	2
講演	日曜學校教育の原理 (下之二) 田村直臣	2
	ジプシー・スミス自傳 (五) 牧笛抄譯	3
	君府通信 千葉勇五郎	3
	吾が聖書より (二) ムーデー	4
	他山の石 (第五) <sup>※1</sup> 奈是來人	5
	日本浸禮教會組合規則 —	5
	傳道委員の権限 —	6
	バプテスト一覧訂正 <sup>※2</sup> —	6
教況	—	6

・京橋紀念浸禮教會・日本浸禮派教役者會執行順序・第十二回日本浸禮教會組合總會・聯合禮拜・花の會・バプテスト日曜學校職員會例會・京濱教役者會・日本浸禮派傳道會社・信州大町・古河講義所・神奈川と川崎・京都浸禮教會・兵庫浸禮教會

彙報 — 8

・渡邊醫學士・小野兵衛、高橋熊太郎、赤川潔、三宅慎一・日本浸禮派傳道會社總會

廣告 — 8

**第17巻第3号 (第230号) 附録**

本社會計報告<sup>※3</sup> — —

※1 正しくは (第六)

※2 前号附録一覧の訂正

※3 欠

**第17巻第4号 (第231号) 1911 (明治44) 年6月20日発行**

教會の自給	—	1
論説	人心自然の要求 原靈泉	1
論説	聖晚餐の式典 渡部元	2
講演	使徒等より學ぶ教訓 神學博士 元田作之進	3
雑録	ジプシー・スミス自傳 (六) 牧笛抄譯	4
雑録	小亜細亜より 千葉勇五郎	4

雑録	他山の石 (第七) 奈是來人	6
教況	—	7

・日本バプテスト傳道會社總會・神奈川と川崎・日本バプテスト神學校<sup>※1</sup>・日本浸禮教會組合第十二回總會・總會記録補遺・總會餘録

廣告 — 8

※1 「日本バプテスト神學校 六月十三日午後二時第一回卒業式執行せらる」

**第17巻第5号 (第232号) 1911 (明治44) 年7月5日発行**

送前主筆	—	1
教報社を去るに臨みて	高橋楯雄	1
論説	救世の本義 —	1
説教	絶対無限の救 秋元安平	2
雑録	三大宗祖の臨終 (一) 枕石	3
雑録	ジプシー・スミス自傳 (七) 牧笛抄譯	4
雑録	他山の石 (第八) 奈是來人	4
雑録	總會雜感 赤川生	5
雑録	兒童の自重心 <sup>※1</sup> 倉橋文學士	5
雑録	精神の異状 (一) 醫學士 加藤耕藏	6
教況	—	7

・日曜學校職員會・平浸禮基督教會・茨城縣吉沼・根室通信・布哇通信・根室國別海村・茨城縣石岡町・鹿兒島浸禮教會・川崎、原町田、上溝・岩手縣盛町・女子共立ミッション三十年紀念會

正誤 — 8

廣告 — 8

※1 横濱浸禮教會婦人會に於ける倉橋文學士講話大要

**第17巻第6号 (第233号) 1911 (明治44) 年7月20日発行**

靈界に於る學生活動の期	—	1
模範的教會	—	1
愛	—	2
三大宗祖の臨終 (完)	枕石	2
他山の石 (第九)	奈是來人	2
歐洲紀行	千葉勇五郎	3
精神の異状 (完)	醫學士 加藤耕藏	3
改譯マコ傳福音書を讀みて	高垣勳次郎	5
日本バプテスト史料 (一) 横濱浸禮教會	史料編纂委員	5
教況	—	6

・兵庫浸禮教會の状況・大阪浸禮教會・京都浸禮教會近況・捜真女學校通信・陸前鹽釜通信・サンズ、ブランド夫人の葬式・神奈川縣教役者會・泉州堺・川崎バプテスマ教會・雜信

個人消息 — 8

・齋藤惣一・前川十郎・池田清道・山田千代子・堺講義所員轉居

廣告 — 8

**第17巻第7号 (第234号) 1911 (明治44) 年8月5日発行**

只神の働きなるのみ	—	1
五行集	東九山人	2
説教	終極の目曙 ジ、キャメル、モルガン	2

雑録	ジプシー・スミス自傳 (八)	牧笛抄譯	3
雑録	他山の石 (第十)	奈是來人	4
家庭	家庭の娯樂	白魚	5
家庭	下女の願ひ	—	5
ミセス、ブランド師		小林健次	6
日本バプテスト史料 (二) 姫路浸禮教會		史料編纂委員	6

教況	—	—	7
・熊本バプテスト教會・下の關バプテスト教會・バプテスト女子學寮・茨城縣眞壁郡・鎌倉より厚木へ・朝鮮牧師團			
廣告	—	—	8

**第17卷第8号 (第235号) 1911 (明治44) 年8月20日発行**

佛教の公準	—	—	1
五行集		東九山人	2
説教	終極の目睹 (承前) ジ、キャメル、モルガン	—	2
道話	親の油斷	雅城譯	3
道話	新らしき光	雅城譯	4
道話	福音を見ました	雅城譯	4
道話	照されたる信徒	雅城譯	4
道話	容易で困難な事	雅城譯	4
雑録	罪人の數と罪人費	—	5
雑録	サンズ、ブランド師 (二)	小林健次	5
教況	—	—	5

・米國ヒラデルヒヤに於けるバプテスト世界同盟會／川口宇吉報・牧師池田清道氏の葬儀・生野町講義所・鹿兒島教況・茨城縣眞壁町・水戸浸禮教會・磐城だより・姫路だより・神奈川

個人消息	—	—	8
・高橋熊太郎・小池友直・辰野恕助・パーシレー・中島力三郎			

廣告	—	—	8
「日本バプテスト神學校」パーシュレー			

**第17卷第9号 (第236号) 1911 (明治44) 年9月5日発行**

地方教會の位置	—	—	1
弔歌	—	—	1
雑録	バプテスト世界同盟會に於けるクリツフォード博士演説の一節	郊外生	2
雑録	ジプシー・スミス自傳 (九)	牧笛抄譯	2
雑録	他山の石 (第十一)	奈是來人	3
日曜學校	日曜學校教師の修養	青柳牧笛	3
日本バプテスト史料 (三) インマヌエル教會		史料編纂委員	4

教況	—	—	5
・バプテスト日曜學校職員會・關西聯合日曜學校夏期講習會・横濱浸禮教會※1・沖繩通信 (一)・沖繩通信 (二)・北海道小樽・茨城縣古河・大町教況・福音丸浸禮基督教會報・福音丸東都傳道地の概況・中央バプテスト教會五月以來の教況概略・名古屋教況講義所の移轉・日本浸禮派傳道會社會計報告			

廣告	—	—	8
「日本バプテスト神學校」パーシュレー			

※1 「横濱浸禮教會」デーリングが山手75番地に来る。山手75番田

神學校講堂を用いて高等英語夜學校を開き、旧寄宿舎を職業を持つ青年の寄宿舎とする計画がある。

**第17卷第10号 (第237号) 1911 (明治44) 年9月20日発行**

基督の教	—	—	1
五行集		東九山人	2
説教	人格の完成	原三千之助	2
雑録	ジプシー・スミス自傳 (十)	牧笛抄譯	3
雑録	他山の石 (第十二)	奈是來人	4
日曜學校	日曜學校と設備	青柳牧笛	4
家庭	肺結核に就て	—	5
教況	—	—	6

・大町浸禮教會組織・大町教況・築地教況・原町田傳道所通信・水戸浸禮教會・八戸浸禮教會・三戸講義所教勢・小樽浸禮教會報・沖繩通信・奈良教況・木津教況・大河原教況・笠置傳道常設・京都浸禮教會近況

廣告	—	—	8
----	---	---	---

「生徒募集 九月十八日より開校し實務及び學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金九拾錢 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

**第17卷第11号 (第238号) 1911 (明治44) 年10月5日発行**

基督の教 (承前)	—	—	1
次五行集		雲水生	2
講演	教會の要求する日曜學校教師	小森谷太吉	2
雑録	他山の石 (第十三)	奈是來人	2
雑録	信州より名古屋	植山壽一郎	3
日本バプテスト史料 (四) 大阪浸禮教會畧史		史料編纂委員	4

教況	—	—	4
----	---	---	---

・第十四回東北部會・京濱教役者會・藤本傳吉氏母堂葬儀・小石川區西原町講義所説教會・東京學院※1・福音丸浸禮基督教會報・福音丸西部傳道所報・門司バプテスト教會・下關バプテスト教會・筑前八幡バプテスト教會・若松講義所・札幌・沖繩通信・茨城縣下館講義所の教況・兵庫浸禮教會の教況・東京内外教役者會

廣告	—	—	8
----	---	---	---

「生徒募集 九月十八日より開校し實務及び學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金壹圓 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

※1 「東京學院」定員増員

**第17卷第12号 (第239号) 1911 (明治44) 年10月20日発行**

祈禱を尊重せよ	—	—	1
五行集		東九山人	2
雑録	ジプシー・スミス自傳 (十一)	牧笛抄譯	2
雑録	他山の石 (第十四)	奈是來人	2
雑録	實行の人	—	3
日曜學校	教會と日曜學校	青柳茂	4
家庭	尊敬すべき夫人	—	4
日本バプテスト史料 (五) 堺講義所畧史		史料編纂委員	4

教況	—	—	5
----	---	---	---

・神學校通信・第十一回關東部會・故藤本常子の履歴・京橋紀念浸禮教會・水戸・小倉バプテスト教會・鹿兒

島バプテスト教會・川崎バプテストマ教會・沖縄通信・神戸浸禮葺合講義所・上溝教會・大町浸禮教會歴史・紐育通信・日本基督教會大會

個人消息 — 8  
・バーレン・石川保五郎・比留間五兵衛・植村正久・ウオン

廣告 — 8  
「生徒募集 九月十八日より開校し實務及び學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金壹圓 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

**第17卷第13号 (第240号) 1911 (明治44) 年11月5日発行**

聖靈とは何ぞや — 1  
五行集 東九山人 2  
説教 教會の原動力 ダブルユー、アキスリング 2  
他山の石 (第十五) 奈是來人 3  
日本バプテスト史料 仙臺尚綱女學校略史 史料編纂委員 4  
教況 — 4  
・日本浸禮派傳道會社・關東及關西部會・大阪通信(大阪女子神學校近況、大阪浸禮教會、浪速教會の近況)・神學校學友會・福音丸浸禮教會・福音丸倉橋傳道所・福岡縣八幡バプテスト教會・沖縄通信・生野講義所・泉州堺・大町教況・京都浸禮教會・中央バプテスト教會・川崎バプテストマ教會・横濱浸禮教會

廣告 — 8  
「生徒募集 九月十八日より開校し實務及學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金壹圓 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

**第17卷第14号 (第241号) 1911 (明治44) 年11月20日発行**

東門か西門か — 1  
五行集 東九山人 2  
説教 教會の原動力 (承前) ウイリヤム、アキスリング 2  
雑録 ジブシー・スミス自傳 (十二) 牧笛抄譯 2  
雑録 他山の石 (第十六) 奈是來人 3  
雑録 新宮 藤本柏陵 作歌 4  
日曜學校 習慣の力と日曜學校 青柳茂 4  
日本バプテスト史料 徳山浸禮教會講義所略史 史料編纂委員 5  
教況 — 5  
・日本浸禮派傳道會社・四谷浸禮教會・池田浸禮教會講義所・兵庫教況・捜真女學校献堂式・早稲田友愛學舎<sup>※1</sup>・東京聯合共勵會秋季大會・日本メソジスト教會現況・組合教會現況・シヤトル浸禮教會・日本浸禮派傳道會社會計報告

個人消息 — 8  
・渡部元氏夫人・鈴木半次郎・佐藤太三郎・ビツケル船長

廣告 — 8  
「生徒募集 九月十八日より開校し實務及學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金壹圓 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

---

※1 「早稲田友愛學舎 早稲田大學生の為に用ゐらるべき寄宿舎及

宣教師館竣工せり献堂式十月十七日に催され」

**第17卷第15号 (第242号) 1911 (明治44) 年12月20日発行**

祈 — 1  
五行集 東九山人 2  
説教 理想の人 ヘンリー、ドラモンド 2  
雑録 他山の石 (第十七) 奈是來人 3  
雑録 基督の夢 高垣生 4  
雑録 クリスマスお伽噺 犬と雀 青柳茂 8  
兵庫浸禮教會略史 — 8  
教況 — 9  
・名古屋教勢・横濱私立山手英語學校愛友館・吉沼浸禮教會講義所・茨城縣古河講義所・京濱教役者會・長府バプテスト教會・沖縄通信

個人消息 — 11  
・タムソン、アキスリング・吉川龜、今井革・パーシュレー

廣告 — 11  
「社告 十二月五日號は都合により休刊。教報社」  
「生徒募集 九月十八日より開校し實務及學藝に緊要なる英語を教授す授業料毎月金壹圓 横濱山手町七十五番 山手英語夜學校」

**第17卷第16号 (第243号) 1912 (明治45) 年1月5日発行**

年新たなるに非ず — 1  
五行集 東九山人 2  
説教 審判の朝 ワトキンソン 2  
説教 罪に勝てる愛 岡崎牧師 3  
日曜學校 眞の結果 エム生 4  
家庭 思ひの外の奥さま 「教友」太廣氏談 5  
教況 — 5  
・盛岡浸禮教會傳道の記／今井革<sup>※1</sup>・若狭傳道・川崎通信聖誕節祝賀會・捜真女學校日曜學校・福岡教況・東京小石川西原町講義所・神田中央バプテスト教會・神奈川及其附近

個人消息 — 8  
・パーシュレー・アキスリング・吉永三次・テンネー・川口宇吉・佐々木梅治

廣告 — 8

---

※1 「盛岡浸禮教會傳道の記」にタッピングの記事あり

**第17卷第17号 (第244号) 1912 (明治45) 年1月20日発行**

去れよ批評の心 — 1  
五行集 東九山人 2  
説教 キリストの花嫁 渡部生 2  
雑録 九州瞥見記 ユ、エス、生 3  
日曜學校 清吉の過失 — 5  
家庭 祈禱室 — 6  
家庭 米國の小兒 在米高山夫人通信の一節 6  
教況 — 6  
・根室浸禮教會明治四十四年度教勢報告・信州大町四十四年度諸集會及集金及支出金・池田浸禮教會講義所教況・福音丸浸禮教會・内外教役者會・東京青年會・奈良教報

個人消息 — 8

・前川十郎・村上寛七・加藤耕藏		
広告	—	8

**第17巻第18号 (第245号) 1912 (明治45) 年 2 月 5 日発行**

吾人の使命	—	1
五行集	東九山人	2
説教 靈性の發達	ワトキンソン	2
雑録 神の實在	古都廻人	3
雑録 志想の革新	谿水生	3
兒童研究	くり	4
日本バプテスト史料 バプテスト木津講義所略史	—	5
教況	—	5
・琉球傳道*1・水戸浸禮教會・芝浸禮教會・鹿兒島教會の近況・茨城縣古河講義所・福岡バプテスト夜學校・吉沼講義所・神戸浸禮教會通信・日本浸禮派傳道會社・名古屋傳道地通信・筑門教役者會・日本傳道會社會計報告		
訂正*2	—	8
広告	—	8

※1 「琉球傳道」アキスリング

※2 前号の訂正

**第17巻第19号 (第246号) 1912 (明治45) 年 2 月 20 日発行**

覺醒	—	1
五行集	東九山人	2
説教 靈性の發達 (承前)	ワトキンソン	2
求道の栞 罪人に對する神の愛	豊秋生	3
求道の栞 科學者の靈界觀	古都廻人	4
日曜學校 感心な新聞賣子	—	5
家庭 中流社會と下層人民	—	5
バプテスト教會史料 大阪女子神學校略史	—	6
教況	—	6
・朝鮮・京都浸禮教會・傳道會社東京支部・堺・日本浸禮派傳道會社會計報告		
通告	—	8
広告	—	8
「生徒募集 日本バプテスト神學校」		

**第17巻第20号 (第247号) 1912 (明治45) 年 3 月 5 日発行**

三教會同の意義	千葉勇五郎	1
説教 聖き憧憬	渡部生	2
雑録 牧會上の經驗に就て	植山牧師	3
雑録 一訓一諺	麻茶雜生	4
日曜學校 日曜學校の複級	青柳生	4
家庭 家庭笑話	—	5
バプテスト教會史料 奈良バプテスト講義所略史	—	5
教況	—	5
・三教會同・日本基督教會同盟・横濱通信・傳道會社・沖繩通信・駿臺女學校の改革・東京學院*1・水戸浸禮教會・バプテスト中央會館		
個人消息	—	8
・ベンニンホフ・高橋楯雄・千葉勇五郎・ステットマン・近藤義從・佐野卯三郎・原三千之助		

正誤	—	8
広告	—	8
「生徒募集 東京學院」, 「生徒募集 日本バプテスト神學校」		

※1 「東京學院」校長ベニンホフ辭職、後任はグレースット

**第17巻第21号 (第248号) 1912 (明治45) 年 3 月 20 日発行**

社會の先驅者	—	1
五行集	東九山人	2
雑録 縮圖	ラザロ	2
日曜學校 都會兒童と草木の名	—	3
家庭 家庭醫學「活ける家」の紹介	—	4
公開状	高垣勤次郎	4
教況	—	5
・日本基督教會同盟會開書・教會同盟加入・年會の時と場所・日本聯合共勵會大會・札幌・横濱浸禮教會・日本浸禮派傳道會社・池田教況・兵庫教況・鹿兒島の近況・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	7
・松山守善・岡崎義孝・リピット姉・小川そめ・大立目文彌・吉川龜・アキスリング		
広告	—	8
「生徒募集 東京學院」, 「生徒募集 日本バプテスト神學校」		

**第17巻第22号 (第249号) 1912 (明治45) 年 4 月 5 日発行**

基督を顯せ	—	1
哭慈母	豚兒龜拜草	1
五行集	東九山人	2
雑録 慈母を喪ひし時の余の感想	吉川龜	2
雑録 教を説く人の為	郊外生	3
雑録 感謝の念	—	4
雑録 碧眼の行脚僧 (一) *1	書峰道人	4
日曜學校 日曜學校の責任	—	5
家庭 愛の化身*2	—	5
バプテスト教會史料 浪速浸禮教會略史	—	5
教況	—	6
・本多庸一氏永眠・第六回日本日曜學校協會大會順序・東京市内日曜學校生徒大會・小樽浸禮教會報・堺・芝浸禮教會・神奈川傳道所・東京バプテスト日曜學校同盟・白十字會より「結核安息日に就て」		
個人消息	—	7
・パーシュレー、ボールデン、千葉、佐藤・吉川龜、山本熊次郎・川城とら・南部小三郎・森田てつ・條猪之彦・菅野文子・ベンニンホフ・吉川成章・武田龜吉		
広告	—	8
「生徒募集東京學院」		

※1 ベーカーの小伝

※2 キターの慈善の話

**第17巻第23号 (第250号) 1912 (明治45) 年 4 月 20 日発行**

朝三暮四	—	1
五行集	東九山人	2
雑録 碧眼の行脚僧 (二) *1	書峰道人	2

雑録 朝鮮より	一信徒	3
家庭 文がら	恩寵園主人	3
教況	—	5
・組合總會*2・京濱教役者會*3・傳道會社東京支部・第六回日本日曜學校協會大會・横濱英語夜學校・横濱各教會・捜眞女學校卒業式・水戸浸禮教會・大町教況・茨城縣古河講義所・小樽浸禮教會報・福音丸パァシュレー博士・沖縄傳道の光景・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	8
・鎌田重吉・淺木荒一・柴田音江・柴田春江・小林善一・ミス、ライダー・小木筆子・高橋楯雄夫人・ミス、リピット・佐々木梅治・ワインド		
廣告	—	8
「東京學院」		

※1 ベーカーの小伝

※2 「本年の組合總會は六月五日六日の兩日有馬に開かる、」

※3 「京濱教役者會 横濱に中學を設立するの件」

<b>第18巻第1号(第251号) 1912(明治45)年5月5日発行</b>		
悲哀の勝利	ジョン・ヘンリ・ストロング	1
雑録 教を説く人の為	郊外生	3
雑録 碧眼の行脚僧(完)*1	書峰道人	3
雑録 逝く春	横田生	4
雑録 一訓一諺(第二)	麻茶雜生	4
雑録 神力	高田畊安詠	4
教況	—	5
・第一信・日本浸禮派教役者會・神學校通信・東京學院近況・東京聯合禮拜・中央會館少年少女會・四谷浸禮教會・神戸浸禮教會・樺本町傳道開始・福音丸教會報・鹿兒島の開教十年紀念會・門司バプテスト教會・横濱浸禮教會・川崎・壽町傳道館・神奈川		
廣告	—	8
「東京學院」		

※1 ベーカーの小伝

<b>第18巻第2号(第252号) 1912(明治45)年5月20日発行</b>		
希望	渡部生	1
五行集	東九山人	2
雑録 花の會に付て	青柳茂	2
雑録 一訓一諺(第三)	麻茶雜生	3
雑録 牧場の笛の音	牧笛生	3
雑録 宗教と慈善	(山室氏説教の中より)	3
教況	—	4
・組合總會・第二信・日本日曜學校協會大會・東京バプテスト日曜學校同盟例會・京都浸禮教會近況・茨城縣古河・登米教會報・三戸基督教講義所・宮城縣氣仙沼教況・沖縄浸禮教會通信・神奈川傳道所・石岡教況・日本浸禮派傳道會社會計報告		
廣告	—	8
「東京學院」		

<b>第18巻第3号(第253号) 1912(明治45)年6月5日発行</b>		
播種の譬	ジ・キャベル・モルガン	1

五行集	東九山人	2
雑録 二つの法	岡崎福松	3
雑録 日本の神とは何ぞ	古都廼人	3
雑録 信仰の友	ラザロ	4
家庭 結核豫防法	(クノップ博士)	5
教況	—	6
・東京浸禮教會連合禮拜並に第三回花の會・小樽浸禮教會近況教會の移轉		
個人消息	—	8
・淺原慈朗・高橋夫人・飯田美穂治		
廣告	—	8
「東京學院」		

<b>第18巻第4号(第254号) 1912(明治45)年6月20日発行</b>		
僕たるの精神	吉川龜	1
五行集	東九山人	2
雑録 愛	渡部生	3
雑録 一訓一諺(第四)	麻茶雜生	3
雑録 遇感	尚長	4
雑録 信仰の人多部田春吉君を偲ぶ	山田生	4
教況	—	5
・第十三回日本浸禮教會組合總會・浸禮教會教役者會・日本バプテスト神學校第二回卒業式*1・京都浸禮教會献堂式並に説教會・浪速教會近況・信州大町・沖縄通信・浸禮派傳道會社・四十四年度浸禮教會組合會計報告・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	8
・パーシュレー・ミルス、ミスヒュース・淺原貞子		
廣告	—	8
「東京學院」		

※1 「日本バプテスト神學校第二回卒業式は五月三十日午後二時同校講堂に於て舉行せらる。」

<b>第18巻第5号(第255号) 1912(明治45)年7月5日発行</b>		
第一問	—	1
五行集	東九山人	2
雑録 沈黙の勝利	原枕石	3
雑録 我派に於ける按手禮の意義と其の方法(一)	山本熊次郎	4
雑録 信徒の生涯	横田無為生	4
家庭 玄關より臺所まで	川島芳子	4
教況	—	5
・大阪市内浸禮派日曜學校聯合花の會・宮下町講義所・豊岡・名古屋・氣仙沼・市俄古日本人ミッションホーム・八戸教況・第廿三回夏期學校・女子青年會第七回夏期修養會・聖書講習會		
廣告	—	8
「東京學院」		

<b>第18巻第6号(第256号) 1912(明治45)年7月20日発行</b>		
信徒の一日	—	1
五行集	東九山人	2
雑録 フィリッピン傳道	フィリプトン女史	3
雑録 我派に於ける按手禮の意義と其の方法(二)	山本熊次郎	4

雑録 信仰の人多部田春吉君を偲ぶ (二)	山田生	5
日曜學校 犬の話	太廣生	6
家庭 最善のものを與へよ	—	6
教況	—	7
・四十日旅行日誌・救世軍の新事業・日本浸禮傳道會 社會計報告		
廣告	—	8
「日本バプテスト神學校 生徒募集」、「東京學院」		

**第18巻第6号\*1 (第257号) 1912 (大正元) 年8月5日発行**

天皇崩御	—	1
哀詞	—	1
新帝踐祚	—	1
基督の警誠	渡部生	2
五行集	東九山人	2
雑録 傳道と祈禱との關係 ウイリヤム、アキスリング		3
雑録 ジプシー・スミス自傳 (十三)	牧笛抄譯	4
雑録 祈の答	高橋元治 證詞	4
日曜學校 日曜學校の使命	青柳茂	4
教況	—	6
・東北部教勢・小樽浸禮教會報・氣仙沼・平教況(一)・ 福音丸・大町教況・バプテスト女子神學校・横濱諸教 會出席者概況・南北バプテスト總會・ブラゼル極西部 の開拓		
個人消息	—	8
・クレメント・ルース・クレメント・原松太・片田江 駒太郎・曾根三治		
廣告	—	8
「日本バプテスト神學校 生徒募集」、「東京學院」		

**第18巻第6号\*1 (第257号) 附録**

日本浸禮派傳道會社總會記録	—	1
傳道會社小沿革	—	1
謹告	—	1
經常費募集	—	2
記念設備費募集	—	2
不足金募集	—	2
社員姓名 (四十四年度所定寄附者)	—	2

※1 正しくは第18巻第7号

**第18巻第8号 (第258号) 1912 (大正元) 年8月20日発行**

炎威赫々	—	1
五行集 (第百五十五号*1五行集に追加す)	川勝鐵彌	2
雑録 明治天皇を偲び 大正天皇を迎ふ	小森谷太吉	3
雑録 ジプシー・スミス自傳 (十四) *2	牧笛抄譯	4
日曜學校 日曜學校職員 (一)	青柳茂	4
家庭 家庭の規律と兒童の將來 (一)	—	5
教況	—	5
・日本浸禮派傳道會社役員會・東京聯合共勵會・東京 バプテスト日曜學校同盟・東京禁酒會・日本浸禮傳道 會社東京支部・浸禮教會關東部會・古河傳道日誌・沖 繩通信 (第一信)・千葉縣成田・報告 (大行天皇御大 喪敬弔式假順序)・日本聖公會と日本基督教會同盟・ 日本浸禮派傳道會社會計報告		

個人消息	—	8
・今井革・栗山安兵衛・松村時次・齋藤惣一・瀧澤菊 吉・足立信三郎		
報告*3	—	8
廣告	—	8
「日本バプテスト神學校 生徒募集」、「東京學院」		

※1 正しくは第255号か？

※2 正しくは「ジプシー・スミス自傳」

※3 「日本浸禮教會組合事務所、日本浸禮派傳道會社本部 東京市  
神田區三崎町一丁目四番地バプテスト中央會館内に置く」

**第18巻第9号 (第259号) 1912 (大正元) 年9月5日発行**

人の本分	渡邊生	1
五行集 (前號に續く)	川勝鐵彌	1
雑録 誤解せられたる基督教の博愛主義	曾根三治	2
雑録 ジプシー・スミス自傳 (十五)	牧笛抄譯	3
雑録 教會獨立管見 (一)	山田光秀	3
日曜學校 日曜學校職員 (二)	青柳茂	4
教況	—	5
・日本に於ける基督教諸教會の統計・門司バプテスト 教會・盛岡教會近況・大町教況・生野講義所・東京聯 合共勵會・地方にある各派教役者諸君に謹告す		
個人消息	—	7
・澤野芳太郎・渡邊運之進・フィシャー・デーリング・ 小栗はつ子・齋藤よし子・高橋卯三郎・今井革氏夫人・ テンネー、フート・山田光秀・栗原政藏		
正誤*1	—	7
廣告	—	8
「日本バプテスト神學校 生徒募集」、「補欠生徒募集 東京學院」		

※1 前号の訂正

**第18巻第10号 (第260号) 欠。**

**第18巻第11号 (第261号) 1912 (大正元) 年10月5日発行**

生と死と	—	1
五行集	東九山人	2
雑録 内在の基督	ウイリヤム、アキスリング	2
雑録 宇治と宗教	原枕石	3
雑録 ブース大將の遺訓	—	4
雑録 明治天皇奉送詩	高田畹安志	5
家庭 乃木夫人の壮烈	—	6
教況	—	6
・第十二回關西部會執行順序・關東部會信徒大會施行 順序・浸禮派東北部會第十五回總會執行順序・福岡教 會・首里・沖繩通信・原町田傳道所教況・氣仙沼・日 基組合兩教會の總會及び大會・日基組合兩教會の統計・ 世界に於ける組合教會		
廣告	—	8
神學博士ベンネット著「説教者」、「東京學院」		

**第18巻第12号 (第262号) 1912 (大正元) 年10月20日発行**

大正の覺悟	渡部元	1
五行集	東九山人	2
雑録 内在の基督 (承前)		

ウイリヤム・アキスリング	3
雑録 四福音書實観	4
曾根三治	4
教況	5
・東北部會第十五總會・板橋講義所・第十二回浸禮教會關東部會概況・日本浸禮派傳道會社會計報告	
個人消息	8
・曾根三治・今井革・佐々木梅治・中島力三郎・森徳太郎・金田漸	
廣告	8
「説教者 今後本書の販賣方を警世社書店に依頼致候」、 「東京學院」	

第18巻第13号 (第263号) 1912 (大正元) 年11月5日発行

新約記者の視たる復活と救との關係	1
郊外生	1
日曜學校 日曜學校生徒の入退學	2
青柳茂	2
江原翁の母堂 <sup>*1</sup>	—
教況	7
・泉州堺・福音丸浸禮基督教・尾道傳道開始・茨城縣岩間・スコット夫人永眠	
個人消息	7
・鶴原五郎・ミセスグレシット並に令嬢・西澤本次・渡邊謙助・荒瀬鶴喜・後藤六雄・ウワン・飯田美穂治・内田尚長・原三千之助・關東部會出席諸君の顔	
廣告	8
「東京學院」	

※1 欠 (3~6頁欠)

第18巻第14号 (第264号) 1912 (大正元) 年11月20日発行

新約記者の視たる復活と救との關係 (二)	1
郊外生	1
雑録 基督の喜び	2
渡部生	2
雑録 十年の感謝	3
鈴木半次郎	3
雑録 ジプシー・スミス自傳 (十六)	4
牧笛抄譯	4
日曜學校 日曜學校生徒出席獎勵法	4
青柳茂	4
家庭 牧師の妻より牧師の妻への信書	5
教況	6
・東京學院同窓會・釜石・大町傳道地の活動・中央會館・東京基督教女子青年會・日本浸禮派傳道會社會計報告	
個人消息	8
・フランクリン博士	
廣告	8
「東京學院」	

第18巻第15号 (第265号) 1912 (大正元) 年12月5日発行

所感	1
フランクリン博士	1
山鹿素行と其學説 (一)	3
佐藤喜太郎	3
ジプシー・スミス自傳 (十七)	4
牧笛抄譯	4
第一發見 (告白)	5
山田光秀	5
他山の石 基督教二大教派の側面觀	6
杉原成義	6
教況	6
・常置委員會・東京諸教會聯合禮拜・京濱教役者會・神學研究會・日本バプテスト青年同盟發會式 <sup>*1</sup> ・宮川町講義所 <sup>*2</sup> ・門司バプテスト教會・鶴原氏葬儀	
個人消息	8
・秋元安平・金子豊吉・千葉勇五郎・曾根三治・フ	

ンクリン	—
廣告	8
「東京學院」	

※1 「日本バプテスト青年同盟發會式を十二月一日(日曜)午後二時中央會館にて催す。(中略)坂田君開會の辭を述べて先づ本同盟設立の由來を説明し、吾人青年の氣、期せずして相合し、遂に之が設立を見るに至り去月六日の會合に於て會長高垣、幹事坂田、友井、橋本の四君を役員に選舉し、本日をも以て發會式を擧ぐるの運びに至りたる(中略)因に本同盟は吾派教育制度の改善を切望し、第一着手として、東京學院を横濱に移轉擴張せん事を要求し、學院校長、理事會、並にフランクリン博士に建白書を呈したり。」

※2 正しくは宮下町講義所

第18巻第16号 (第266号) 1912 (大正元) 年12月20日発行

クリスマスに當りて	1
最善の同盟	2
原枕石	2
唯一の救	2
小川達	2
山鹿素行と其學説 (二)	4
佐藤喜太郎	4
恩寵の一年	5
渡邊生 <sup>*1</sup>	5
家庭 滋養物とは何乎	6
せき子	6
教況	6
・大町教況及特別大活動・沖繩通信・横濱浸禮教會・日本浸禮派傳道會社會計報告	
正誤 <sup>*2</sup>	7
個人消息	7
・伊藤壽八・伊藤しき江・秋元安平・吉川龜・武田龜吉・大立目文彌・佐藤卯衛門・ロツス	
廣告	8
「東京學院」	

※1 正しくは渡部  
※2 前号の訂正

第18巻第17号 (第267号) 1913 (大正2) 年1月5日発行

神は神にして人は人也	1
バプテスト發展の樞機	2
シカゴ大學 シエラア マシウス	2
偶感録	3
滿廿五歳の青年	3
家庭 會話に就て	4
サー、マシュー、ヘール	4
海外教況 <sup>*1</sup>	5
外況記者	5
他山の石 牧師の一週間	6
宮川牧師	6
教況	6
・臨時協議會・茨城縣古河講義所	
廣告	8
「東京學院」	

※1 米国バプテスト外国伝道会社の新方針公示

第18巻第18号 (第268号) 1913 (大正2) 年1月20日発行

靈の薫り	1
靈的生命の養成	2
米國デニソン大學總長 ハント博士	2
二者を一とす	4
渡部生	4
感話集 家庭禮拜	S
感話集 百一人	A
感話集 祈と働き人	A・G

感話集 三人組	T	5
他山の石 教會と社會問題	—	5
教況	—	6

・兵庫浸禮教會教報・盛岡だより・門司バプテスト教會・沖縄通信・大町教況・哈爾賓便・日本浸禮派傳道會社會計報告		
廣告	—	8
「東京學院」		

第18巻第19号 (第269号) 1913 (大正2) 年2月5日発行

新らしき王と其王國 <sup>※1</sup>	ヒリス博士、多田譯す	1
堅き決心	原枕石	3
ジェセカの始めての祈	せつ子譯	4
寄書 正統バプテスト教會と他教會	イ・エーチ・ジョンス	5
教況	—	7
・神學校敷地購入・捜眞女學校の發展・神戸バプテスト教會・神奈川・モット氏の來朝期・聯合共勵會大會		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」		

※1 中段に写真あり「新築完成せる捜眞女學校」

第18巻第20号 (第270号) 1913 (大正2) 年2月20日発行

眞智の萌芽	南都	1
何故に教役者が失敗するか	—	1
求めよ然らば與へられん	渡邊生 <sup>※1</sup>	2
日曜學校 日曜學校と成童訓育	青柳茂	2
ジェセカの始めての祈	せつ子譯	4
他山の石 故古木虎三郎氏	—	5
教況	—	6
・盛岡より・仙臺印象記・教會同盟大會・ヘンダーソン博士・スミス、ロビンス兩氏の來朝・日本バプテスト青年同盟祈禱會・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	7
・島塚秀吉・比嘉賀秀・久富すみ・ライダー姉・ペーカー・渡部元		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」		

※1 正しくは渡部か？

第19巻第21号<sup>※1</sup> (第271号) 1913 (大正2) 年3月5日発行

バプテスト中央會館の消滅	高垣生	1
眞のイスラエル人	南都生	2
私用行	渡部生	3
日曜學校 家庭科と嬰兒科	青柳茂	4
他山の石 無限の力	金森通倫	5
教況	—	5
・バプテスト中央會館の焼失・會館並に中央教會善後策・中央バプテスト教會・門司バプテスト教會・茨城縣古河町講義所・友愛學舎		
個人消息	—	8
・荒瀬夫人		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」		

※1 正しくは第18巻第21号であるが、次号以降も誤記に準じて巻号数が進んでいるため、次号以降については特に必要な場合を除いて注は付さない。

第19巻第22号 (第272号) 1913 (大正2) 年3月20日発行

教界益多事	—	1
富士の山	仕人	1
日曜學校 日曜學校の献金	青柳茂	3
ジェセカの始めての祈	せつ子譯	4
教況	—	5
・第十一回西南部會・横濱浸禮教會・中央バプテスト教會近況・訂正・日本聯合共勵會大會執行順序・基督教女子青年會寄宿舍・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	7
・タムソン・ジョンス・テンネー・吉川龜・高垣勳次郎		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」、「日本バプテスト神學校 神學生募集」		

第19巻第23号 (第273号) 1913 (大正2) 年4月5日発行

基督信徒の富源	ストロング博士	1
京都だより	—	2
能はず	秋元生	3
『噫、無情』	臥牛	4
家庭 幼児と迷信	寺田精一	6
教況	—	7
・本年の組合總會・米國浸禮派傳道會社總豫算・四ツ谷教會・姫路浸禮教會・生野講義所・門司バプテスト教會・古河町・東京學院 <sup>※1</sup>		
個人消息	—	8
・千葉勇五郎・曾根三治・四谷教會・ホルトン・下山忠夫・アキスリング・石丸陸		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」、「日本バプテスト神學校 神學生募集」		

※1 「東京學院 去廿八日第十三回卒業式を擧ぐ」

第19巻第24号 (第274号) 1913 (大正2) 年4月20日発行

京都だより	—	1
基督中心主義	シ・エフ・エーケツド博士	2
ジェセカの始めての祈	せつ子譯	4
教況	—	6
・モット氏協議會に連る記／渡部生・捜眞女學校・東京學院近況 <sup>※1</sup> ・東京學院同窓會 <sup>※2</sup> ・大阪浸禮教會・池田講義所・茨城縣古河講義所・京都教會・四谷浸禮教會・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	7
・大居良朔・菊池あさ・高橋一郎・天野榮造・スコット・前川十郎・佐藤清・吉永三次・杉浦周治・岩永英作		
廣告	—	8
「東京學院 生徒募集廣告」、「五月五日號は臨時休刊 教報社」		

- 
- ※1 「東京學院にては去三月廿八日午後二時第十三回卒業證書授與式を舉行」
- ※2 「東京學院同窓會 三月廿八日同校卒業式後寄宿舎集會室に於て催されたり」

### 第20巻第1号(第275号) 1913(大正2)年5月20日発行

基督中心主義(承前)	シ・エフ・エーケツト博士	1
宗教上の従順	侶舟	2
ジエセカの初めての祈	せつ子譯	3
教況	—	4
・宣教大會繼續委員協議會決議録・第十四回日本浸禮教會組合總會假施行順序・組合總會・關西教役者會・浪速教會十週年紀念會・堺說教所報・首里浸禮教會教勢・水戸浸禮教會・再び古河町へ出征す・古河講義所・神奈川・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	8
・ボールデン・藤野かをる・松村時次・岡本しづ・植山八郎・岩永英作・管野修藏・内田尚長・下山忠夫		
廣告	—	8
「東京學院」		

### 第20巻第2号(第276号) 1913(大正2)年6月5日発行

京都だより	—	1
集會中の基督	侶舟	2
ジエセカの初めての祈	せつ子譯	3
教況	—	4
・宣教大會繼續委員協議會決議録・大町教況・根室小池仁郎氏より・姫路・沖繩通信・石岡講義所・上海たより・神學校だより概況(東北傳道旅行、ボウルデン教師送別會、神學校卒業式 <sup>※1</sup> 、學友會總會並びに說教會)・第十四回組合總會		
個人消息	—	8
・大立目文彌・垣塚茂樹・内田尚長・守屋吉之助		
廣告	—	8
「東京學院」		

- 
- ※1 「日本バプテスト神學校にては其第三回卒業式を去三日午後二時より其假講堂に於て舉行せり」

### 第20巻第3号(第277号) 1913(大正2)年6月20日発行

東都雜感	—	1
靈交録	靈泉	2
今日之業務	天涯生	2
大説教家スボルヂヨン逸話集	小スボルヂヨン	3
ジエセカの初めての祈	せつ子譯	4
第十四回總會を評す	小生	6
教況	—	6
・日本浸禮派傳道會社・日本浸禮教會教役者會・福音丸浸禮教會報・門司バプテスト教會・沖繩通信・名古屋・富岡中學より・日本日曜學校協會・日本浸禮派傳道會社會計報告		
個人消息	—	8
・小野兵衛・伊藤巳之助・山田光秀・平川喜八氏夫人・原七五三助・千葉勇五郎・伊藤壽八		
廣告	—	8
「東京學院」		

### 第20巻第4号(第278号) 1913(大正2)年7月5日発行

アモス書の通俗的解説	赤川潔	1
靈交録	靈泉	3
ジエセカの初めての祈	せつ子譯	4
北海行より總會へ	浪速生	4
總會見聞記	佐藤山の男	6
基督教世界の記事に就て	一記者	6
訂正申込	山本熊次郎	7
教勢	—	7
・有馬の宣教師會 <sup>※1</sup> ・筑門便り・山本熊次郎氏の按手禮・沖繩通信・氣仙沼・八戸・仙臺木町傳道所・大町教況・浸禮派教役者會		
個人消息	—	8
・原口精一・比嘉秀賀・西原直敏・渡部元		

- 
- ※1 「有馬の宣教師會 一、東京學院の移轉」

### -----<sup>※1</sup>(第279号) 1913(大正2)年7月20日発行

靈交録	靈泉	3
ジエセカの初めての祈	せつ子譯	3
南船北馬	曳尾散史	4
言論 浸禮	—	6
言論 基督教門外論	大塚小一郎	6

- 
- ※1 卷号数不明。1、2、7、8頁欠。

## ● 奥付の変遷

- ・ 第11巻第7号 1906（明治39）年10月25日から  
 第11巻第11号 1907（明治40）年2月25日まで  
 発行所：東京市牛込区左内阪町廿九番地 教報社  
 印刷所：東京市牛込区神楽町一丁目二番地  
 翔鸞社井上印刷工場  
 印刷人：小森谷太吉  
 発行兼編輯人：渡部元
  
- ・ 第11巻第12号 1907（明治40）年3月25日  
 欠落のため奥付不明
  
- ・ 第12巻第3号 1907（明治40）年6月20日  
 発行所：横濱市山手町七十五番 教報社
  
- ・ 第12巻第4号 1907（明治40）年7月20日  
 発行所：横濱市山手町七拾五番 教報社  
 印刷所：横濱活版舎
  
- ・ 第12巻第5号 1907（明治40）年8月20日から  
 第12巻第8号 1907（明治40）年11月20日まで  
 発行所：横濱市山手町七拾五番 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番 福音印刷合資會社  
 印刷人：伊藤巳之助
  
- ・ 第12巻第13号 1908（明治41）年4月20日から  
 第16巻第6号（第208号）1910（明治43）年7月5日まで  
 発行所：横濱市山手町七拾五番 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番 福音印刷合資會社  
 印刷人：伊藤巳之助  
 発行兼編輯人：高橋楯雄
  
- ・ 第16巻第7号（第209号）1910（明治43）年7月20日から  
 第16巻第11号（第213号）1910（明治43）年9月20日まで  
 発行所：横濱市根岸柏葉三四六三 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番地 福音印刷合資會社  
 印刷人：伊藤巳之助  
 発行兼編輯人：高橋楯雄
  
- ・ 第16巻第12号（第214号）1910（明治43）年10月5日から  
 第16巻第15号（第217号）1910（明治43）年11月20日まで  
 発行所：横濱市根岸柏葉三四六三 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番地 福音印刷合資會社  
 印刷人：植山重一郎  
 発行兼編輯人：高橋楯雄
  
- ・ 第16巻第16号（第218号）1910（明治43）年12月5日から  
 第17巻第6号（第233号）1911（明治44）年7月20日まで  
 発行所：横濱市青木町三三九 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番地 福音印刷合資會社  
 印刷人：植山重一郎  
 発行兼編輯人：高橋楯雄
  
- ・ 第17巻第7号（第234号）1911（明治44）年8月5日から  
 第19巻第22号（第272号）1913（大正2）年3月20日まで  
 発行所：横濱市青木町三三九 教報社  
 印刷所：横濱市山下町八十一番地 福音印刷合資會社  
 発行兼印刷人：植山重一郎  
 編輯人：高垣勸次郎
  
- ・ 第19巻第23号（第273号）1913（大正2）年4月5日から  
 第20巻第4号（第278号）1913（大正2）年7月5日まで  
 発行所：横濱市青木町三三九 教報社  
 印刷所：横濱市山下町百四番地 福音印刷合資會社  
 発行兼印刷人：植山重一郎  
 編輯人：高垣勸次郎

## 渡瀬寅次郎——東京中学院（東京学院）の初代学院長

### 東京中学院最初の卒業生、鈴木房吉の証言

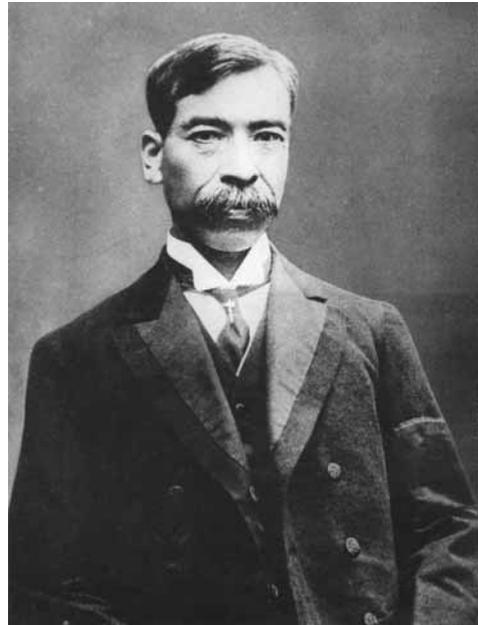
「渡瀬先生を思い起こすと、真っ先にあの濃い一文字の眉が、あの高い美しい鼻が、そしてあの炯々として炬のごとき鋭い目が、直ぐと私の眼前に浮ぶ。『先生』と呼びかけると、僅かに双頬に微笑を湛えられたのが、深い印象となって私の心に跡づけられていて、いつ迄も消えない。先生は誠に凛々しい男性的美貌の持主であった。端厳にして犯すべからずという慨があり、凛乎として近より難い風があった。駄弁冗舌を弄する軽薄才子といった様子は微塵も無かった。私は常に先生を典型的の紳士、模範的の教育者として、心の底から尊敬し、崇拝していた。」

これは第一回の東京中学院の卒業生であった鈴木（後に渡邊）房吉が描く渡瀬寅次郎の風貌と人物像である。残された写真からこの印象が間違いない描写であったことがわかるであろう。

「私は笈を負ふて東京中学院に学び、先生から教えを受けたのであるが、先生の人格は、先生の薫陶は、その後の私の全学業のコースを指導せられたように思っている。私は東京中学院院長である先生から、英訳と、万国歴史と、世界地理と、倫理学とを学んだ。同級生は、今は牧師の聖職におられる渡部元君と私との二人きりであった。先生はいつもこの二人に向かって、『この次には此処から彼処までを準備して来い』と命ぜられ、其日になれば、この二人と向かい合って、縦横に質問された。いやでも怠けてはいられなかった。従って自習自得の道がおのずから教えられ、勤勉精励の習慣がやむなく馴致させられた。」

彼はC・サンズや、A・A・ベンネットが明治中期の不便な時代に出かけて行って、宣教した神奈川県の北部の出身者である。「笈を負ふて」と記しているのは、彼が学業と生活に必要なものをすべて自分で背負って、嵐の日に遠い道を歩いて学校にやってきたからである。「笈」とは昔の旅人が背負った木製のショルダーのことである。クレメントはこのことを報告記事に書いている。鈴木は試験と面接の結果、三年に編入された。渡瀬が担当した科目は上級生向けのものであった。少数精鋭主義は文字通り、教師一人に学生二人の徹底した授業であった。ここで「英訳」といっているのは、今日の「和文英訳」や「英作文」ではなく、英語講読のことである。

「先生は、学業と一緒に人を造るということに力を入れておられたようであった。フランクリンの自叙伝が教科書として用いられておった時など、フランクリ



渡瀬寅次郎肖像

ンの人物、その自力的精進などに就き、懇々と噛み砕くようにして説明された。『二度と生まれ変わったとて今迄の経路を繰り返す外は無い』というフランクリンの言葉が、深々と私どもの頭脳に刻みつけられたことなど、忘れようとしても忘れられない印象である。」

今日でも、ベンジャミン・フランクリン自伝はアメリカ研究に関心を持つ者の必読書である。渡瀬はこれを学生たちに原書で読ませ、解説を加えた。渡瀬はフランクリンと自分の生き方を重ね合わせながら、若き日に学んだ自恃の精神を学生に伝えたかったのであろう。渡瀬にとっては人格の形成と知識の形成は分離できないのであった。

「私が東京中学院に入学したのは明治28年9月で、同31年9月第二高等学校に入学するまでお世話になっていたが、此間、日々、渡瀬先生の謹厳なる人格に接し、撓みなき教訓に与っていたのである。私の学業はまったく東京中学院からスタートを切ったのであるが、私のコースは実に先生の監視の中に進行したものといて良い。私は今でも先生を父の如く思っている。端厳にして近づき難い所があったが、又その心からの厚情が私共を親しませ、なつかしめずにはおかなかった。私は僅かに三年半の中学教育を受けただけであったが、それでも高等学校入学の幸運を勝ち得たのは、まったく先生から余儀なくされた勉強と、充実した薫陶の贈り物だと感謝している。」

渡瀬の教育の感化は、鈴木にとって生涯を通して消えがたいものであった。

## E・W・クレメントの残した渡瀬寅次郎についての証言

（渡瀬氏は）「1887（明治20）年私どもが水戸にまいりました時、私が教鞭をとった中学校の校長でありました。御夫妻は英語を話す人の少ない水戸市にあって、日本及び日本人に対する私どもの第一印象を形造って下さいました。私どもは水戸に住んでいる唯一の外国人でありました。実際、外人の英語教師があつた古い保守的都市へ教師として招聘されたというのも、相共に海外の旅をされた渡瀬氏と安田知事のお蔭なのです。」

C・H・D・フィッシャーが一時期水戸に住んで、英語を教え、バイブル・クラスを開いていた。実は、彼は水戸中学校の英語教師に就任するように懇願された。彼はシカゴ大学の後輩にあたる、学殖豊かで教師の経験もあるクレメントを水戸中学校に紹介したのである。このような経緯のもと、1887年にクレメント夫妻が水戸にやって来たわけである。渡瀬は1886年8月には茨城県立水戸中学校校長兼一等教諭として赴任していた。彼はここで中学校校長職を二年間務め、転進して茨城師範学校校長と県の学務課長を兼務した。彼は1889年6月まで茨城県に留まった。この時期に、クレメントは水戸で4年間教えた。渡瀬と安田知事との関係について「相共に海外の旅をされた」とあるが、1884-1886年にイギリス・ロンドンで開催された万国発明品博覧会に、安田定則は事務官長として、渡瀬はその随員のひとりとして派遣された。この博覧会後、ヨーロッパ、アメリカを経由して二人は帰国した。渡瀬はこの間、札幌農学校時代に身に着けた英語の実力を十二分に発揮した。安田知事は渡瀬を高く評価して、渡瀬を茨城県の教育と行政に当たさせたのであった。

「1895年、少年たちのバプテスト・スクールを創めようと二度目に日本にまいりました時、渡瀬氏にそのスクールの校長になって戴くお願いをするのは当然なことでした。私どもは永い年月の間、最も融和した状態でその仕事を一緒にやって来ました。国民的若しくは人種的差別などは少しもなく、共通の正義に立脚して協力を続けて行ったのです。渡瀬氏は深くキリスト教を信仰する有能なる教育家でした。そうして氏は自分の良心に反する行為に従うよりはと、ある重要な地位から退いた方です。」

水戸中学校で肝胆相照らす仲となっていた二人は、やがて自分たちがつくる中学校についてあるべき姿を論じていたのであろう。クレメントは渡瀬を「深くキリスト教を信仰する有能なる教育家」と評価した。ここで「氏は自分の良心に反する行為に従うよりはと、ある重要な地位から退いた方です」とあるのは、1889年6月に渡瀬が茨城師範学校校長を辞したことを暗示している。師範学校校長という要職を1年間で辞した事情を、当時、水戸にいたクレメントは詳らかに知ってい

たのである。クレメントはこうも記す。

「渡瀬氏は教育事業を狭義に解するような人ではありませんでした。氏は公的精神の人で、重要な職務について自分の区（赤坂）及び市を教育しようと活動した人です。」

渡瀬は1892年に33歳で赤坂区議員に当選した。1895年には赤坂区会議長に選任された。1899年には40歳で東京市議員に当選、1905年までその任に留まった。1909年から1917年まで再び赤坂区議員を務めた。この間、渡瀬は日比谷公園の造園に参画し、また築地港・市場の改修事業など市民生活の近代化に貢献した。この故、東京市長の尾崎行雄に深く信頼された。タフト大統領就任を祝して東京市が桜の木を贈呈した時、専門的な知識を持った渡瀬が樹木の選別にあたった。クレメントはさらにこう加える。

「氏は又種子、植物及び農具を取り扱う事業を創めて農業方面における日本の一般的進歩に貢献した人でした。」

渡瀬は官尊民卑の潮流の時代にかかわらず、31歳で、勇敢にも官職を辞し、野にあって日本の農業の近代化に貢献することにした。また『興農雑誌』を創刊した。渡瀬は弱冠21歳で札幌農学校の壇上で、「農業こそ最も尊い職業なり」と訴えた。彼は34歳にして、この事業を自ら始めたのである。渡瀬は千葉県で発見された新種「二十世紀梨」の命名と普及にも貢献した。

渡瀬のキリスト教信仰についても記している。

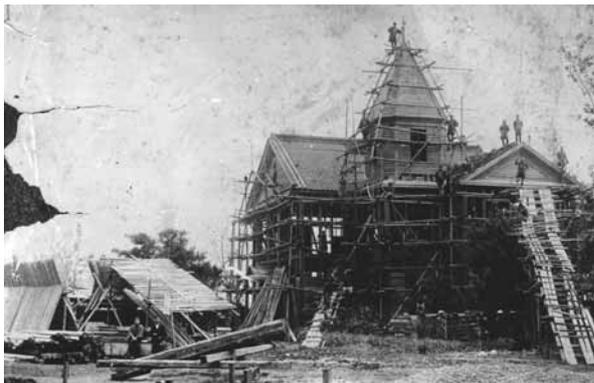
「渡瀬氏は真摯で熱心なクリスチャンでした。学校時代には、基督教伝道に幾多の活動的指導者を与えてくれた有名な『サッポロ・バンド』の一員になっていました。こうした団体と氏が結んでいたことが氏の全生涯に影響を及ぼしたに相違ないと思います。」

東京英語学校に学んでいた渡瀬にとって、開成学校（後の東京大学）に進むのが順序であった。しかし彼は第一期生として札幌農学校に入学し、クラーク博士から直接の感化を受けて、在学中、「イエスを信じる者の誓約」に署名し、1887年にM・C・ハリス宣教師から洗礼をうけ、札幌独立基督教会の創設にかかわった。そこで熱心に宣教活動に従事した。水戸在任中も、フィッシャーやクレメントとともに宣教活動に関わった。東京では東京キリスト教青年会理事を務めた。いわゆる「札幌バンド」に属した人々、佐藤昌介、大島正健、新渡戸稲造、内村鑑三、宮部金吾らは彼の生涯の友であった。

## 渡瀬の生い立ち

渡瀬寅次郎の父親、源四郎は旧徳川家の幕臣であった。1867（慶応3）年、明治維新にあたり、徳川家は駿河（静岡）に移封された。徳川家の幕臣は3万人、その家族を含めると、その数倍の人数になっただろう。

彼らが突然にして生活の基盤を失った。彼らの選択肢は、新政府に帰順して、仕えるか、自営・自活の道を探るか、無禄を覚悟して、藩主にお供して、新領地に移住するかであった。渡瀬家は第三の道を選んだ。父親は寅次郎が4歳の時に死亡、母親は寅次郎が10歳の時に死去した。彼には兄と弟がいたが、母方の祖母に育てられた。兄の昌邦は後に明治政府の陸軍少尉にまでなった。弟の庄三郎は寅次郎に続いて札幌農学校に学び、シカゴ大学に進み、後に東京大学教授となった。専攻は動物学であった。寅次郎は札幌農学校を卒業後、北海道開拓使御用係として4年間勤務し、害虫駆除の任務に当たった。1884年に上京し、農商務省御用係を拜命、翌年、ロンドン万国発明品博覧会事務官兼農商務省博覧会事務取扱を命じられた。また文部省からはイギリスの農学校の調査を委嘱された。帰国後、すでに紹介したように、茨城県の教育関係に関わった。1889年に官職を辞した。その年、日本農会特選幹事に任じられた。1892年には大日本農会常設議員に当選した。1893年には東京農業学校（今日の東京農業大学）の評議委員に選ばれた。同じ年に、東京キリスト教青年会理事、日本園芸会評議員にも選任された。1895年4月に麻布中学校教頭に就任、7月にこれを辞任した。その年の9月に東京中学院の学院長に就任した。1900年には東京中学院は東京学院に改称し、専門学校令に基づく高等部を併設することにした。東京学院の所期の目指すところが完成したので、1903年に渡瀬は学院長を辞した。その年に、渡瀬は静岡県田方郡西浦村九連に柑橘園と興農園農場を開設した。1906年には大日本平和協会幹事長に就任した。日露戦争直後にキリスト教信仰に基づき、国際平和運動に関わったのである。



建築中の東京学院校舎

渡瀬は1926（大正15）年11月8日に逝去した。享年68歳であった。渡瀬の死後、西浦村の興農園農場に興農学園が開設された。これは渡瀬の遺志を継いだ農業教育を目指した学校であった。この学校は、デンマークの国民高等学校を手本につくられた。共同生活の中で、農民の実生活に即した教科が教えられた。200名以上の卒業生を出した。また柑橘類の栽培の研究や、各種の講習会を開催して、地元の人々に貢献した。しか

し戦時下の事情により、1943年に教育活動を停止した。

内村鑑三は『渡瀬寅次郎伝』の編纂に際して、次のような言葉を贈り、彼の生涯を回顧し、さらに後に続く人々の役割をも論じている。

「我等の旧き友の一人なる渡瀬寅次郎君は永き眠りにつかれました。悲しみに耐えません。君は明治の初年に我等と共にキリスト教を信じ、札幌独立基督教会の設立をたすけられ、その信仰を維持して今日に至り、終にその信仰を以て眠られました。君は官吏として、学校教員として、実業家として、忠実にその職を尽くされました。そして神は君の事業を恵み給いて、これに成功を与えられました。君は農学士にふさわしい生涯を送られました。農を以て身を興し、農を以て国を益せられました。・・・

君はまことに幸いな人であります。世に君の如くに事業に成功した人は沢山あります。しかし君の如くに希望を懐いて世を去りうる者は滅多にありません。求むべきは永遠の神を信ずる信仰であります。人生の目的は最後の5分間のために準備するにあります。

渡瀬君の靈魂は天にまします神の懐に帰りました。しかしながら君のこの世に於ける事業はまだ完成されません。神を信ずる者の事業は自分のための事業ではありません。国のため、人類のため、神のための事業であります。そして君はよくこの事を解しておられたと承っております。デンマーク流の基督教の基盤に立てる農学校を起こしたいとは、君の年来の志望であったと承ります。もし君がなお十年生存せられたならば、この理想が君の直接の監督の下に実現したろうと思えます。しかしながら、このことなくして逝かれしは、残念至極であります。しかしこの尊ぶべき理想は実現を見ずして已むべきではありません。その実行の責任はいまや御遺族と我等友人の上に落ちているのであります。

日本はたしかにかかる農学校を必要とします。基督教を基礎とするものでありますから、これを日本政府の設立に待つことは出来ません。これは渡瀬君の如き人物を待って初めて実現されるものであります。もしデンマークの農聖グルントウィッヒの精神がわれらの旧友渡瀬寅次郎君の名によって、わが日本に実現するに至りますならば、君は天上の祝福を得しと同時に、地上の栄光を得らるるものであると思えます。私は旧札幌農学校の同志を代表し、ここに渡瀬寅次郎君の名を、グルントウィッヒの名がデンマークに残る如く、わが日本に残したいとの希望を述べます。これ亡き君に対し、君の遺族と友人とが尽くすべき最大の義務であると信じます。」

農業を重んじ、農業の啓蒙と近代化に貢献した渡瀬寅次郎をあらためて高く評価したいものである。また渡瀬は今日の関東学院の基礎造りに寄与したことに注目したい。

## 〔学院史資料の紹介〕

### 『<sup>ちよほ いち</sup>一の半治』

藤本傳吉著 鈴木庸一発行

1935（昭和10）年6月5日発行

47頁（写真2枚）

書名にある「一」とはサイコロを使って行う賭博である。「半治」は鈴木半治郎のことである。半治郎はクリスチャンになる前は、サイコロ賭博にはまり「一の半治」と異名が付くほどであった。

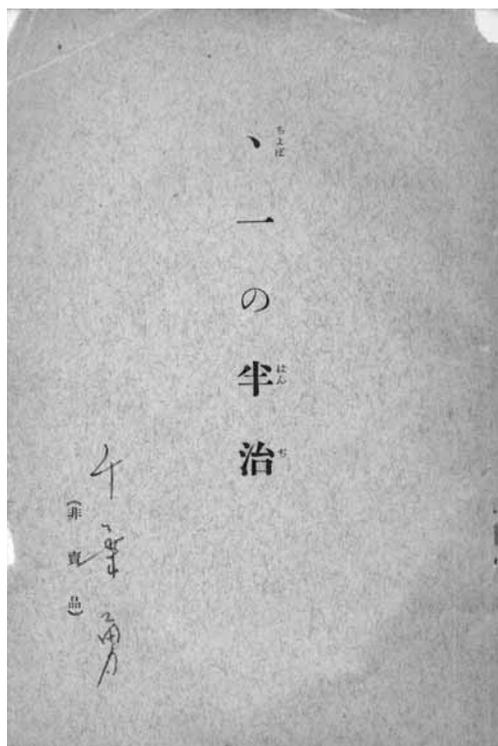
半治郎について、この著作以外にも、『関東学院百年史』の「東京学院の教職員たち」や東京学院の卒業生の大島邦雄が「聖徒となる博徒 - 鈴木半治郎翁 -」（『新生』67号、昭和30年10月）、『日本バプテスト宣教100年史』などに紹介されている。

鈴木半治郎は賭方として、関東学院の源流である横浜バプテスト神学校に勤務し、その後の学校の変遷と共に、日本バプテスト神学校、東京学院、関東学院と24年間にわたって奉職した。半治郎の信仰に基づいた一途な仕事ぶりは多くの人に感銘を与えてきた。

半治郎は1862（文久2）年5月15日に千葉県に生まれた。兵役が終わると地元の旧家である米穀商の江澤家の養子に迎えられ、子を儲けたが、サイコロ賭博にはまるようになり、親族が会議を開き、半治郎に賭博を止めるか養子先を出るか通告した。半治郎は妻と子を残して養子先を出た。そして、横浜の松影町の波止場人足の大親分大澤勝之助を頼り寄宿した。そこでも賭博を続けた。その後、砂糖問屋の石渡定治に見込まれて、石渡が本業以外に持っていた魚河岸の事務に採用され、実績を挙げ、3年後に横浜の砂糖工場の主任となった。ここでも、賭博にはまり、ついに店の金を使い込んでしまった。

「手前に博打が止まつたら、俺あ野毛の坂を、鯨立で三辺昇つて見せる」と大澤勝之助が云うほどに、半治郎は賭博に入り込んでいた。半治郎の剛毅な性格を愛し、半治郎は多くの人に用いられた。しかし、賭博のために失敗を重ねても、賭博を止めることはできなかった。

石渡家を飛び出し、松影町の飯屋で働いていたとき、銭湯の帰りに、寿町にあった伝道館で横浜バプテスト神学校の教授パーシュレーが説教していた。半治郎は



表紙

188×125 (mm)

パーシュレーの流暢な日本語に惹きつけられて伝道館に行くようになった。伝道館に行き始めて、ある男に大怪我をさせられた。半治郎は教会に行く人は清く正しい人で、自分みたいにこれまで多くの問題を起こしてきた者が行ったので神が罰を与えたのではないかと、教会に行くことを止めた。病床の半治郎のもとに、伊藤巳之助牧師をはじめ、多くの教会員が見舞った。半治郎はこの愛に満ちた見舞いは、教会の人を通して行われる神様からの愛だと確信し、1903（明治36）年9月12日に山手75番地にあった神学校の池で神学校長のデーリングから浸礼を受けた。

半治郎は1905（明治38）年から横浜バプテスト神学校の賭方に採用され、伊藤牧師の世話で再婚した。

神学校で働く半治郎は信仰的に大きな問題にぶつかった。それは、神に仕えるための学問をしている学生の中に、いろいろな問題を感じ退学する者がおり、無学な自分のような者に神に仕える道はあるのだろうかという疑問であった。この問題の答えを得るために神に祈った。そして、「同じ材木でも、一は大黒柱となり、一つは床柱となり、同じ板にしても、一つは床板となり、一つは戸棚の鏡板ともなり、又品に由つては雪隠の踏板ともなり、誠に千差萬別であるが、釣しく造作の一部となつて、家の御用に立つてゐる事は同じである」と思った時、半治郎は賭方の仕事が神から与



氏郎次平木鈴の時當争戦清日

『一の半治』より



氏郎次平木鈴の年晩

『一の半治』より

えられた天職であると確信することができた。藤本はこの確信を得たことにより、「この日賄方の鈴木さんは、突然役目を昇進させられて、神学校のお父さんとなった。」と記している。このことがあり、半治郎は賄方であるが寮で将来神に仕える学生の生活指導を行うようになった。『関東学院百年史』に、半治郎は「神学生から敬愛され、同時にこわがられた名物男であり、千葉勇五郎院長よりこわい人」との記述があるように神学生の生活面での面倒をよく見た。半治郎は学生に対し厳しいだけでなく、学生の捨てた紙くずなどをためて、それを売り、学生の食費の足しにするなど学生を愛していた。

1927（昭和2）年4月に財団法人関東学院が組織され、東京学院を合併した。このため横浜に移り、学生寮の檀檄寮の賄いの他に中学部や高等部商科の学生の昼食の世話もするようになった。

半治郎は1929（昭和4）年12月9日脳溢血で倒れると、すぐに辞表を出した。学院は引き止めたが、半治郎は仕事ができないのに給料をもらうことを潔しとせず翌年3月に辞めた。学院は半治郎に慰労金を贈り、夫人を事務員として採用し、これまでの半治郎の功績に報いた。

半治郎は1935（昭和10）年2月27日に召天し、横浜三ツ沢墓地に埋葬されている。

著者の藤本伝吉は1894年に捜真女学校の国語と漢文

の教師となり、横浜バプテスト神学校の創立者である、A・A・ベンネットから浸礼を受けた。1920年から関東学院の教師となった。藤本は讃美歌作家としても著名であり、現在も使用されている1954年版『讃美歌』（日本基督教団出版局）の210番、213番、372番、433番を作詞している。213番はベンネットの生き方を綴った讃美歌である。

藤本は半治郎と30年に及ぶ交流があり、半治郎のことを「翁天性奇骨稜々、俠香馥郁」と剛毅で人に屈せぬ強い心の持ち主として賞賛している。藤本は半治郎の生前より伝記を書くことを計画しており、半治郎が1934（昭和9）年自動車事故で病床にあるとき見舞いに行き、半治郎にその生涯の大要を原稿用紙に纏めるよう依頼した。半治郎は10月に纏めたものを藤本に送った。藤本はそれをもとに伝記を書き11月に病床にある半治郎に確認したという。翌年の1935（昭和10）年2月に半治郎が召天、続いて5月31日に藤本が召天した。本書発行の直前のことであった。発行者の鈴木庸一は半治郎の息子で関東学院神学部の学生であり、将来牧師として期待されていたが同年7月30日に、伝道実習先の和歌山県の紀南の海岸で日曜学校の児童とお話をしているときに突然の土用波に襲われ溺死した。

この本は藤本と半治郎の互いの信仰に支えられた深い友情の証としての著作である。

（元学院史資料室主幹 三浦啓治）

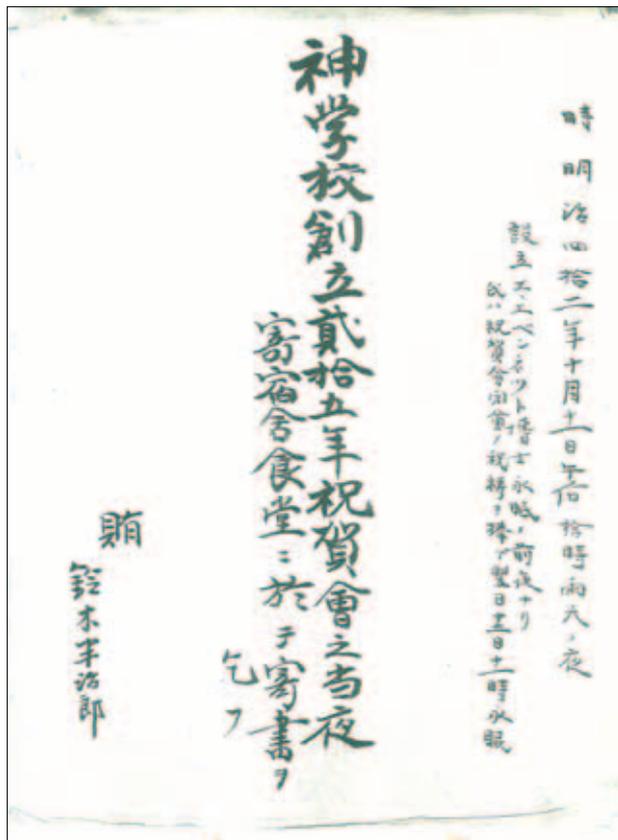
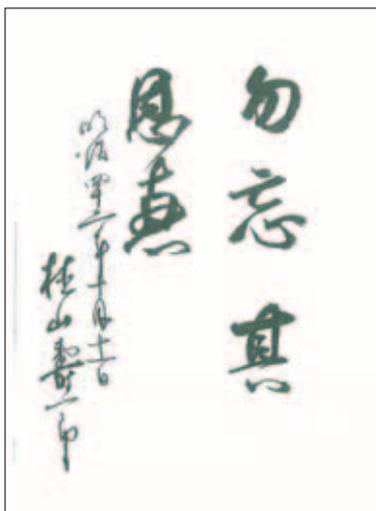
# 「神学校創立貳拾五年祝賀會之当夜 寄宿舎食堂ニ於テ寄書ヲ乞フ 贈 鈴木半治郎」

横浜バプテスト神学校の「創立二十五年紀年會」は、1909（明治42）年10月11日午後3時から校堂で開催された。また、同日午後7時半からは「EVENING SESSION（夕会）」が行われた。

タイトルから察して、横浜バプテスト神学校で贈方を務めていた鈴木半治郎氏がまとめた寄書であろう。（鈴木半治郎氏については本紙別記事に詳しいのでそちらをご覧ください。）

「父子聖靈 柏陵（藤本伝吉）」、「信望愛 明治卅年之卒業生高橋楯雄」、「勿忘其恩恵 植山壽一郎」、「なくてならぬものは一なり 渡部元」、「萬事不得機則不成 鈴木半治郎」の他、丸山繁雄、下瀬加守、辰野恕助、中島力三郎、比留間五兵衛、若松磐泉、星野光多、世良田盛次郎などの書が収められている。

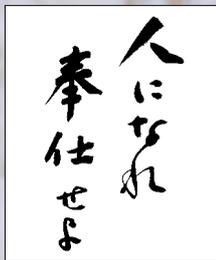
この寄書集は佐々木敏郎氏（彰栄保育福祉専門学校校長、元関東学院宗教主任）が所蔵しており、元職員員の岡沢貞行氏が大学図書館勤務当時に佐々木氏から借りて写しを製本したものが大学図書館に残っている。（学院史資料室）



## 資料・情報提供のお願い

学院史資料室は学院に関する資料の収集をしています。

各学校、各部署等で発行されました刊行物は一部、学院史資料室にご寄贈くださいますようお願いいたします。また、各所で作成されたのち、既に保存期間を超えたか、不要になっている過去の書類、機器・備品、写真などにつきましても、情報を提供していただけますようご協力をお願いいたします。



関東学院 校訓

## 編集後記

◆日本で発行されたバプテスト派の機関紙の総目次作成によりやく着手することができました。今回の『教報』総目次作成にあたり、日本バプテスト同盟杉並中通教会松岡正樹牧師、日本近代文学館徳永美樹氏をはじめ、ご協力くださった皆様に御礼申し上げます。◇『日本バプテスト宣教百年史』によれば、『教報』以前にもいくつか機関紙が発行されているようですが、それら機関紙の所在（写しを含む）が現時点では不明であるため、実際に手に取れる資料としては『教報』が最も古いものであると言えます。今後も継続して、『教報』以降の機関紙の総目次作成に取り組む予定です。ところで、『教報』の印刷所「福音印刷合資会社」の設立者、村岡平吉氏は上海で印刷技術を学び、キリスト教関連の印刷を行うためにこの会社をおこしました。この村岡氏は「赤毛のアン」の翻訳で知られている村岡花子氏の義父にあたります。◇『<sup>54</sup>ハリーの半治』は、海老坪眞氏（元中高宗教主任）のご自宅を伺った際に初めて手にした資料です。◇長年、『関東学院学報』（広報課発行）で連載されてきた「関東学院の源流を探る」が、今回から本紙に場所を移すことになりました。引き続きご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。（菊池）

KANTO GAKUIN Archives

関東学院学院史資料室 ニュース・レター 第14号 発行日 2011(平成23)年1月11日

発行人 関東学院 学院長 森島牧人

編集 関東学院 学院史資料室

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

TEL. 045-786-7066 FAX. 045-786-2932